

CA Application Performance Management

for Microsoft SharePoint ガイド

リリース 9.5



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、
(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2013 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA Technologies 製品リファレンス

このドキュメントは、以下の CA Technologies 製品および機能に関するものです。

- CA Application Performance Management (CA APM)
- CA Application Performance Management ChangeDetector (CA APM ChangeDetector)
- CA Application Performance Management ErrorDetector (CA APM ErrorDetector)
- CA Application Performance Management for CA Database Performance (CA APM for CA Database Performance)
- CA Application Performance Management for CA SiteMinder® (CA APM for CA SiteMinder®)
- CA Application Performance Management for CA SiteMinder® Application Server Agents (CA APM for CA SiteMinder® ASA)
- CA Application Performance Management for IBM CICS Transaction Gateway (CA APM for IBM CICS Transaction Gateway)
- CA Application Performance Management for IBM WebSphere Application Server (CA APM for IBM WebSphere Application Server)
- CA Application Performance Management for IBM WebSphere Distributed Environments (CA APM for IBM WebSphere Distributed Environments)
- CA Application Performance Management for IBM WebSphere MQ (CA APM for IBM WebSphere MQ)
- CA Application Performance Management for IBM WebSphere Portal (CA APM for IBM WebSphere Portal)
- CA Application Performance Management for IBM WebSphere Process Server (CA APM for IBM WebSphere Process Server)
- CA Application Performance Management for IBM z/OS® (CA APM for IBM z/OS®)
- CA Application Performance Management for Microsoft SharePoint (CA APM for Microsoft SharePoint)
- CA Application Performance Management for Oracle Databases (CA APM for Oracle Databases)

- CA Application Performance Management for Oracle Service Bus (CA APM for Oracle Service Bus)
- CA Application Performance Management for Oracle WebLogic Portal (CA APM for Oracle WebLogic Portal)
- CA Application Performance Management for Oracle WebLogic Server (CA APM for Oracle WebLogic Server)
- CA Application Performance Management for SOA (CA APM for SOA)
- CA Application Performance Management for TIBCO BusinessWorks (CA APM for TIBCO BusinessWorks)
- CA Application Performance Management for TIBCO Enterprise Message Service (CA APM for TIBCO Enterprise Message Service)
- CA Application Performance Management for Web Servers (CA APM for Web Servers)
- CA Application Performance Management for webMethods Broker (CA APM for webMethods Broker)
- CA Application Performance Management for webMethods Integration Server (CA APM for webMethods Integration Server)
- CA Application Performance Management Integration for CA CMDB (CA APM Integration for CA CMDB)
- CA Application Performance Management Integration for CA NSM (CA APM Integration for CA NSM)
- CA Application Performance Management LeakHunter (CA APM LeakHunter)
- CA Application Performance Management Transaction Generator (CA APM TG)
- CA Cross-Enterprise Application Performance Management
- CA Customer Experience Manager (CA CEM)
- CA Embedded Entitlements Manager (CA EEM)
- CA eHealth® Performance Manager (CA eHealth)
- CA Insight™ Database Performance Monitor for DB2 for z/OS®
- CA Introscope®
- CA SiteMinder®
- CA Spectrum® Infrastructure Manager (CA Spectrum)

- CA SYSVIEW® Performance Management (CA SYSVIEW)

CA への連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: 概要	11
拡張機能について.....	11
拡張機能の仕組み.....	12
拡張機能コンポーネント.....	12
拡張機能コンポーネントの相互動作.....	13
SharePoint Monitor エージェント.....	13
SharePoint Monitor エージェントのコンポーネント.....	14
エージェント コンポーネントの相互動作.....	14
第 2 章: 拡張機能のインストールおよび設定	15
前提条件タスクの実施.....	15
ユーザ権限の設定.....	16
システムおよびバージョンのサポート.....	16
SPMonitor エージェントのインストール方法および設定方法.....	17
SharePoint Monitor エージェント コンポーネントのインストール.....	17
SharePoint Monitor プロパティの設定.....	19
SharePoint Monitor エージェントの Windows サービスとしての登録.....	21
SharePoint Monitor エージェントの起動.....	22
拡張機能のインストール要件.....	22
インストールの準備.....	23
システムおよびバージョンのサポート.....	23
拡張機能をインストールおよび設定する方法.....	23
拡張機能の Enterprise Manager コンポーネントのインストール.....	24
拡張機能のエージェント コンポーネントのインストール.....	27
標準 PBD および完全 PBD 用の PBL ファイルの設定.....	28
SPMonitor エージェントのアンインストール.....	33
拡張機能をアンインストールする方法.....	33
プロファイルファイルからのエントリの削除.....	33
関連するファイルおよびフォルダの削除.....	34
第 3 章: 拡張機能の使用	35
拡張機能を使用した SharePoint Portal の監視.....	35
SharePoint Portal のメトリック.....	36

パフォーマンスが低いコンポーネント	36
ダッシュボードの表示	37
ダッシュボード	38
メトリック グループおよびアラートの表示	40
SharePoint Portal サービス メトリックおよびイベント情報の表示	42
sharepoint-typical PBD を使用した SharePoint Portal およびそのコンポーネントの全体的なパフォーマンスの表示	47
sharepoint-full PBD を使用したパフォーマンスが低いページの表示	50
アクティブなサイトとページヒットの表示	56
レイアウト ページメトリックの表示	57
Web サービス メトリックの表示	57
トランザクション追跡の表示	58
Transaction Trace Viewer[Transaction Trace Viewer]	60

付録 A: メトリック 63

メトリック テーブルの確認方法について	63
SharePoint Publishing Cache	64
Office Server Search Archival Plug-in/OSS Search Archival Plug-in	66
Office Server Search Gatherer Projects/OSS Search Gatherer Projects	67
Office Server Search Gatherer/OSS Search Gatherer	73
Office Server Search Indexer Catalogs/OSS Search Indexer Plugin	81
Office Server Search Schema Plugin/OSS Search Schema Plugin	88
OSS Secure Store Credentials	88
OSS Secure Store Tickets	89
Excel Calculation Services	89
Excel Services Web フロント エンド/Excel Services アプリケーション Web フロント エンド	91
Excel Web Access/Excel Services アプリケーション ブラウザ	91
Microsoft シングル サインオン	92
InfoPath Forms Services/InfoPath Forms Services 14	94
Web サービス	96

付録 B: 監視対象イベント 107

拡張機能により監視される SharePoint イベント	107
------------------------------------	-----

付録 C: 監視される Web サービス 109

SharePoint 2007 により監視される Web サービス	109
SharePoint 2010 により監視される Web サービス	110

付録 D: FAQ

113

[SharePoint] ダッシュボードで [IIS パフォーマンス] タブが機能しない.....	114
[SharePoint] ダッシュボードで [データベース オペレーション] タブが機能しない.....	114
[SharePoint] ダッシュボードで [バックエンド] タブが機能しない.....	115
サービスは動作しているが SharePoint サービスに関連付けられているアラートが赤色で表示される.....	115
データベース サーバがファーム サーバの一部として Investigator ツリーに表示されない.....	116
[Stall Count] メトリックが [Pages] または [Web Parts] の下にのみ表示される.....	116
サイトメトリックが表示されない.....	117
ページメトリックが表示されない.....	117
ページおよび Web パーツのライフサイクルメソッドのパフォーマンス.....	117
ユーザアクティビティが識別されない場合に間隔ごとの応答数が多く表示される.....	118
[大文字と小文字を区別する] オプションを使用したトランザクション追跡に何も表示されない.....	118
サイトコレクション、サイト、またはサブサイトのトランザクション追跡のページ識別.....	119
すべての ASPX ページメトリック レポートのグループ化.....	119
すべてのフロントエンド ノードの URL メトリックのグループ化.....	120

第 1 章: 概要

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[拡張機能について](#) (P. 11)

[拡張機能の仕組み](#) (P. 12)

[SharePoint Monitor エージェント](#) (P. 13)

拡張機能について

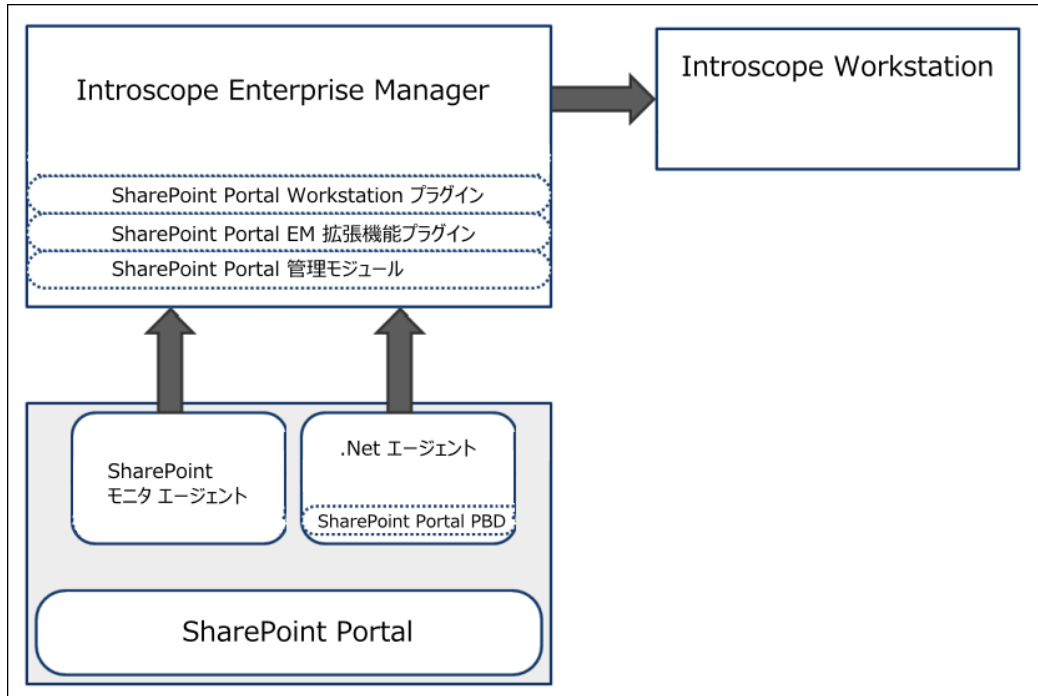
CA APM for Microsoft SharePoint は、パフォーマンス監視および管理の完全なソリューションです。この拡張機能は、開発、QA、ステージング、および実運用時に、SharePoint Portal コンポーネントの継続的な監視を提供します。また、この拡張機能では SharePoint Portal の外部への可視性が拡張されるため、SharePoint Portal 内およびクリティカルなバックエンドシステムへの接続におけるパフォーマンスの問題を識別することが可能になります。

この拡張機能は、SharePoint Portal からリアルタイムのメトリックを収集して分析します。メトリックは、可用性、パフォーマンス、稼働状況に関連する問題を示します。発生した問題について管理者またはシステムユーザにアラートを発行するように拡張機能をカスタマイズすることができます。個々の SharePoint Portal 展開のニーズを満たすようにアラートを設定できます。拡張機能は CA Introscope® エンタープライズ監視プラットフォーム上に構築されているため、その主要な利点をすべて共有します。

ダッシュボードを使用して、SharePoint Portal の全般的な稼働状況、パフォーマンス、および可用性を表示できます。Investigator ツリーでは、パフォーマンスが低いコンポーネントのリストがテーブルビューに表示されます。テーブルビューを使用して、グラフィカルビューを生成することができます。グラフィカルビューでは、パフォーマンスが低いコンポーネントとその他の SharePoint Portal コンポーネントとの関係が表示されます。グラフィカルビューは、パフォーマンスが低いコンポーネントが SharePoint Portal のほかのコンポーネントにどのように影響するかをユーザが理解するのに役立ちます。

拡張機能の仕組み

以下の図に、ユーザの環境での CA APM for Microsoft SharePoint の展開方法を示します。



拡張機能コンポーネント

CA APM for Microsoft SharePoint には以下のコンポーネントが含まれています。

エージェント拡張機能、PBL ファイル、および PBD ファイル

SharePoint Portal のメトリック データを収集し、そのデータを Enterprise Manager に転送します。

Enterprise Manager プラグイン、および Workstation プラグイン

メトリックの分析および集約を行い、表示用のデータを Workstation に転送します。

管理モジュール

SharePoint Portal 用のメトリック グループ、アラート、およびダッシュボードを表示します。

SharePoint Monitor エージェント

Windows イベントおよび PerfMon カウンタを Enterprise Manager にレポートします。

拡張機能コンポーネントの相互動作

拡張機能コンポーネントは、以下のように相互動作します。

1. SharePoint Portal 内およびアプリケーション サーバ内の CA Introscope® エージェントが、メトリックを収集し、そのデータを Enterprise Manager に渡します。
2. ファーム内の 1 つの SharePoint サーバに置かれている SharePoint Monitor エージェントが、Windows イベントおよび PerfMon カウンタを収集します。その後、そのエージェントがイベントとカウンタを Enterprise Manager に渡します。
3. Enterprise Manager はメトリックを分析し、Enterprise Manager プラグインを使用してそれらを集約します。

Workstation はそれらのメトリック、およびメトリックに基づいてパフォーマンスが低いコンポーネントを表示します。また、Workstation は、SharePoint Portal Server の全般的な稼働状況、パフォーマンス、および可用性を表示します。

SharePoint Monitor エージェント

SharePoint Portal Server 環境で SharePoint Monitor エージェントをデプロイする場合、SharePoint Monitor エージェントのコンポーネントは相互に連携します。エージェントおよびコンポーネントは、パフォーマンス監視カウンタおよび Windows のアプリケーション イベントをレポートします。

SharePoint Monitor エージェントのコンポーネント

SharePoint Monitor エージェントには以下のコンポーネントが含まれています。

- **SPerfCounters.list.xml** — この XML ファイルには、拡張機能で監視される PerfMon カテゴリ、カウンタ、およびそれらのインスタンス情報のリストが含まれています。このコンポーネントには、カウンタに関連付けられている監視レベルも含まれています。
- **SPEvents.list** — このファイルには、拡張機能で監視される SharePoint Windows アプリケーション イベントのソースのリストが含まれています。
- **SPMonitor.properties** — このファイルには、SharePoint 監視用のプロパティが含まれています。

エージェント コンポーネントの相互動作

SharePoint Monitor エージェントは以下のように動作します。

1. エージェントは、Sharepoint Portal アプリケーション サーバの PerfMon カウンタおよび Windows イベントを監視します。
2. エージェントは、サービスに対して設定されている監視レベルに応じて、関連するメトリックを Enterprise Manager に送信します。
3. エージェントは、SPEvents.list ファイルで指定されているソースに対するアプリケーション イベントを監視し、そのイベント情報を Enterprise Manager に送信します。

第 2 章: 拡張機能のインストールおよび設定

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[前提条件タスクの実施 \(P. 15\)](#)

[ユーザ権限の設定 \(P. 16\)](#)

[システムおよびバージョンのサポート \(P. 16\)](#)

[SPMonitor エージェントのインストール方法および設定方法 \(P. 17\)](#)

[拡張機能のインストール要件 \(P. 22\)](#)

[拡張機能をインストールおよび設定する方法 \(P. 23\)](#)

[SPMonitor エージェントのアンインストール \(P. 33\)](#)

[拡張機能をアンインストールする方法 \(P. 33\)](#)

前提条件タスクの実施

インストール手順を開始する前に、以下のタスクを実行してください。

1. ファームのすべてのサーバで Windows Management Instrumentation (WMI) を有効にします。
2. ネットワーク内の以下のディレクトリの場所を確認します。

<SharePoint_Agent_Home> が参照する SharePoint Monitor エージェントのインストールディレクトリ。この場所は、SharePoint Portal ファームインストールの一部であるサーバ上の SharePoint ディレクトリです。

ユーザ権限の設定

ユーザ権限を有効にするには、管理タスクを実行します。

次の手順に従ってください:

1. CA Introscope® SPMonitor の Windows サービスを実行するためのドメイン サービス アカウントを作成します。
2. すべてのファーム サーバで、このサービス アカウントを以下のグループに追加します。

- SharePoint ファーム管理者グループ
- ローカル管理者グループ (Administrators)

この手順によって、ファーム サーバの自動検出が有効になります。また、この手順によって、CA Introscope® SPMonitor エージェントが有効になり、パフォーマンス監視 (PerfMon) カウンタおよび Windows イベント ログを読み取ることができるようになります。

3. ユーザが以下の権限を持っていることを確認します。
 - SharePoint サーバ上で Windows 管理者グループのメンバーである。
 - SharePoint 管理者グループのメンバーである。
 - データベースに対して sysadmin 権限を持っている。

注: sysadmin が許可されていない場合は、SPMonitor ユーザを SQLServer ログインに追加し、SharePoint_Config データベースに対する以下のロールを付与します。

- Db_datareader
- Public
- WSS_Content_Application_Pools

システムおよびバージョンのサポート

サポートされている SharePoint のバージョンとシステムについては、「CA APM Compatibility Guide」を参照してください。

SPMonitor エージェントのインストール方法および設定方法

SharePoint Portal サービス メトリックおよびイベント情報を表示するには、CA APM for Microsoft SharePoint の一部である SPMonitor エージェントをインストールして設定します。

以下に手順の概要を示します。

1. [SharePoint Monitor エージェント コンポーネントをインストールします](#) (P. 17)。
2. [SharePoint Monitor プロパティを設定します](#) (P. 19)。
3. [SharePoint Monitor エージェントを Windows サービスとして登録します](#) (P. 21)。

SharePoint Monitor エージェント コンポーネントのインストール

SharePoint Monitor エージェントをインストールするには、スタンドアロン エージェント インストーラを実行します。

注: .NET エージェント インストーラを使用して SharePoint Monitor エージェントをインストールすることもできます。詳細については、「CA APM .NET Agent 実装ガイド」を参照してください。

次の手順に従ってください:

1. スタンドアロン エージェント インストーラを実行します。
注: 詳細については、「CA APM インストールおよびアップグレードガイド」を参照してください。
2. インストールディレクトリとして <SharePoint_Monitor_Agent> を指定します。

3. Enterprise Manager のホストおよびポートを指定します。
エージェントファイルはすべて <SharePoint_Monitor_Agent> ディレクトリにコピーされます。
4. <SharePoint_Monitor_Agent> ディレクトリに以下のファイルが存在することを確認します。

ファイル	説明
.¥SPMonitorAgent¥RegisterSP MonitorWindowService.bat	SPMonitor エージェントを Windows サービスとして登録するバッチ ファイル。
.¥SPMonitorAgent¥DeregisterSP MonitorWindowService.bat	SPMonitor エージェントを Windows サービスから登録解除するバッチ ファイル。
.¥SPMonitorAgent¥SPEvents.list	拡張機能で監視される Windows アプリケーションイベントのソースのリストが含まれているファイル。
.¥SPMonitorAgent¥logging.config.xml	ユーザがログ設定を行うための XML ファイル。
.¥SPMonitorAgent¥Introscope Agent.profile	ユーザが CA Introscope® AutoProbe およびエージェントの設定を行うためのファイル。
.¥SPMonitorAgent¥SPPerf Counters.list.xml	拡張機能で監視される PerfMon カテゴリ、カウンタ、およびそれらのインスタンス情報のリストが含まれている XML ファイル。このファイルには、カウンタに関連付けられている監視レベルも含まれています。
.¥SPMonitorAgent¥properties¥ SPMonitor.properties	SharePoint の監視用のプロパティ ファイル。
.¥SPMonitorAgent¥bin¥wily.Agent.dll	SharePoint 用の依存ライブラリ。

これで、SharePoint Monitor エージェントが設定されました。

SharePoint Monitor プロパティの設定

拡張機能では、SPMonitorAgent¥properties ディレクトリにある SPMonitor.properties ファイルで指定されている以下の SharePoint Monitor プロパティおよびそれらのデフォルト値が使用されます。

- sharepoint.farm.monitor.service.excel.level=recommended
- sharepoint.farm.monitor.service.form.level=recommended
- sharepoint.farm.monitor.service.singlesignon.level=recommended
- sharepoint.farm.monitor.service.cache.level=recommended
- sharepoint.farm.monitor.service.searchindexcrawler.level=recommended
- sharepoint.farm.monitor.service.webapplication.level=recommended
- sharepoint.perfmon.metric.pollIntervalInSeconds=300
- sharepoint.perfmon.instances.pollIntervalInSeconds=600
- sharepoint.farm.monitor.event.error.enabled=true
- sharepoint.farm.monitor.event.warning.enabled=true
- sharepoint.farm.monitor.event.information.enabled=false

メトリックの監視レベル

SPMonitor.properties ファイルを使用して、特定のファーム用の指定されたサービスのメトリックに対して以下の監視レベルを設定できます。

- 監視レベルが「none」に設定されている場合、CA Introscope® はそのサービスを監視せず、そのサービスに対するメトリックを表示しません。
- 監視レベルが「minimum」に設定されている場合、CA Introscope® はそのサービスに対するメトリックの最小セットを表示します。
- 監視レベルが「recommended」に設定されている場合、CA Introscope® はそのサービスに対するメトリックの推奨セットおよび最小セットを表示します。
- 監視レベルが「full」に設定されている場合、CA Introscope® はそのサービスに対するメトリックのフルセットを表示します。このセットには監視されるメトリックがすべて含まれます。

注: 監視レベルの値が設定されていない場合、デフォルトで「recommended」レベルに設定されます。

SPMonitor.properties ファイルを使用して、SharePoint Portal の以下のサービスのメトリックに対する監視レベルを設定できます。

注: サービスはデフォルトの監視レベルを使用します。

- sharepoint.farm.monitor.service.excel.level=recommended
- sharepoint.farm.monitor.service.form.level=recommended
- sharepoint.farm.monitor.service.singlesignon.level=recommended
- sharepoint.farm.monitor.service.cache.level=recommended
- sharepoint.farm.monitor.service.searchindexcrawler.level=recommended
- sharepoint.farm.monitor.service.webapplication.level=recommended

PerfMon カウンタのポーリング間隔の設定

PerfMon カウンタのポーリング間隔も設定できます。

次の手順に従ってください:

1. sharepoint.perfmon.metric.pollIntervalInSeconds プロパティを使用して、PerfMon メトリックが収集される時間間隔を設定します。

たとえば、以下のように設定します。

```
sharepoint.perfmon.metric.pollIntervalInSeconds=300
```

注: デフォルト値は 5 分です。最小間隔は 15 秒、最大間隔は 60 分です。15 秒未満または 60 分を超える値が設定されている場合、CA APM for Microsoft SharePoint はその値をデフォルト値の 5 分に自動的に設定し直します。

2. sharepoint.perfmon.instances.pollIntervalInSeconds プロパティを使用して、PerfMon カテゴリ インスタンスがリフレッシュされる時間間隔を設定します。

たとえば、以下のように設定します。

```
sharepoint.perfmon.instances.pollIntervalInSeconds=600
```

注: デフォルト値は 10 分です。最小間隔は 5 分、最大間隔は 24 時間です。5 分未満または 24 時間を超える値が設定されている場合、拡張機能はその値をデフォルト値の 10 分に自動的に設定し直します。

生成された Windows イベントの監視

SPMonitor.properties ファイルを使用して、SharePoint Portal が生成する Windows イベントを監視できます。

次の手順に従ってください:

1. エラー イベント監視を有効または無効にするには、`sharepoint.farm.monitor.event.error.enabled` を「true」または「false」に設定します。
2. 警告 イベント監視を有効または無効にするには、`sharepoint.farm.monitor.event.warning.enabled` を「true」または「false」に設定します。
3. 情報 イベント監視を有効または無効にするには、`sharepoint.farm.monitor.event.information.enabled` を「true」または「false」に設定します。

注: デフォルトでは、エラー イベントと警告 イベントが有効で、情報 イベントは無効です。

例:

- `sharepoint.farm.monitor.event.error.enabled=true`
- `sharepoint.farm.monitor.event.warning.enabled=true`
- `sharepoint.farm.monitor.event.information.enabled=false`

SharePoint Monitor エージェントの Windows サービスとしての登録

SharePoint Monitor エージェントを開始する前に、SharePoint Monitor エージェントを Windows サービスとして登録する必要があります。

次の手順に従ってください:

1. SPMonitorAgent ディレクトリにある `RegisterSPMonitorWindowService.bat` ファイルを編集して、`InstallUtil.exe` ファイルの絶対パスを指定します。
`InstallUtil.exe` ファイルは .NET Framework の一部です。
2. `RegisterSPMonitorWindowService.bat` ファイルを実行します。
[サービス ログインの設定] ダイアログ ボックスが表示されます。

3. [サービス ログインの設定] ダイアログ ボックスで SharePoint ドメイン アカウントのユーザ名とパスワードを入力します。

注: アカウントのユーザ名は <domain>\<username> の形式で入力する必要があります。

4. [OK] をクリックします。

注: セットアップ時の問題のトラブルシューティングを行うには、¥SPMonitorAgent¥InstallUtil.InstallLog ファイルを参照します。

これで、SharePoint Monitor エージェントが Windows サービスとして正常に登録されました。

重要: Windows サービスを登録した後、そのサービスを手動で開始します。

これで、SharePoint Monitor エージェントがインストールされました。

SharePoint Monitor エージェントの起動

Investigator ツリーで SharePoint Services メトリックを表示するために SharePoint Monitor エージェントを起動します。

次の手順に従ってください:

1. コマンド プロンプトに移動し、services.msc を実行します。
すべての Windows サービスのリストが表示されます。
2. [CA Introscope® SPMonitor] を右クリックし、[開始] をクリックします。

SharePoint Monitor エージェントが起動します。SharePoint Monitor エージェントが起動できない場合、エラー メッセージがアプリケーション イベントで生成されます。

3. 詳細については、コマンド プロンプトに移動し、eventvwr を実行し、Windows イベント ビューアを確認してください。

拡張機能のインストール要件

このセクションでは、前提条件および拡張機能のシステムおよびバージョンのサポートのリストを示します。

インストールの準備

インストール手順の準備作業を行います。

次の手順に従ってください:

1. ネットワーク内の以下のディレクトリの場所を確認します。
 - **SharePoint サーバ** — CA Introscope® .NET エージェントがインストールされている、SharePoint サーバの Web フロントエンド上の .NET Agent CA APM フォルダは、<Agent_Home> として参照されます。
 - **Enterprise Manager** — Enterprise Manager のホームディレクトリは <EM_Home> として参照されます。
2. (オプション) Web サーバおよびデータベースを監視するには、以下のコンポーネントをインストールして設定します。
 - CA Introscope® PowerPack for Web Servers v8.0
 - CA Insight Database Performance Manager for Distributed Databases r11.2.4
 - CA Insight Bridge for CA Introscope®

システムおよびバージョンのサポート

サポートされている SharePoint のバージョンとシステムについては、「*CA APM Compatibility Guide*」を参照してください。

拡張機能をインストールおよび設定する方法

CA APM for Microsoft SharePoint のインストールおよび設定の手順の概要を以下に示します。

1. [拡張機能の Enterprise Manager コンポーネントをインストールします](#) (P. 24)。
2. [拡張機能のエージェント コンポーネントをインストールします](#) (P. 27)。
3. [標準 PBD および完全 PBD 用の PBL ファイルを設定します](#) (P. 28)。

拡張機能の Enterprise Manager コンポーネントのインストール

別のエージェントで同じ Enterprise Manager を使用している場合は、すべての拡張機能の Enterprise Manager コンポーネントがすでにインストールされています。これらのコンポーネントは、インストーラの初回実行時に <EM_Home>\examples フォルダにインストールされます。拡張機能の Enterprise Manager コンポーネントをインストールするために Enterprise Manager インストーラを再度実行する必要はありません。

注: Enterprise Manager の初回インストール時には、インストールおよび設定できる拡張機能のリストが表示されます。SP Monitor For SharePoint Portal を選択します。詳細については、「CA APM インストールおよびアップグレードガイド」を参照してください。

次の手順に従ってください:

重要: 別のエージェントで同じ Enterprise Manager を使用している場合は、手順 1 をスキップして手順 2 から始めます。

1. Enterprise Manager のインストーラを実行します。

拡張機能の Enterprise Manager コンポーネントは Enterprise Manager 上にインストールされます。

インストーラは <EM_Home>\examples\PowerPackforSharepointPortal ディレクトリにファイルを配置します。

注: 詳細については、「CA APM インストールおよびアップグレードガイド」を参照してください。

2. <EM_Home>\examples\PowerPackforSharepointPortal ディレクトリに以下のファイルが存在することを確認します。

注: 以下のディレクトリパスでは Microsoft Windows のディレクトリ構文を使用しています。UNIX など、その他のインストールプラットフォームでは、「¥」を「/」に置き換えます。

- <EM_Home>\examples\PowerPackforSharepointPortal¥config¥modules¥SharePoint_ManagementModule.jar
ダッシュボードにパフォーマンスメトリックを表示するための標準設定用の管理モジュール JAR。
- <EM_Home>\examples\PowerPackforSharepointPortal¥product¥enterprisemanager¥plugins¥com.wily.powerpack.sharepoint.common.ext.tracefilter.jar
トランザクション追跡用のフィルタを設定するための Enterprise Manager 拡張機能のプラグイン。
- <EM_Home>\examples\PowerPackforSharepointPortal¥product¥enterprisemanager¥plugins¥com.wily.powerpack.sharepoint.ddtv.typeviews.jar
Enterprise Manager 拡張機能のプラグイン。
- <EM_Home>\examples\PowerPackforSharepointPortal¥product¥enterprisemanager¥plugins¥com.wily.powerpack.sharepoint.em.ext.listandwebpart.jar
sharepoint-full.pbd の集約メトリック用の Enterprise Manager のプラグイン。
- <EM_Home>\examples\PowerPackforSharepointPortal¥product¥enterprisemanager¥plugins¥com.wily.powerpack.sharepoint.em.ext.perfmon.jar
SPMonitor エージェントの集約メトリック用の Enterprise Manager のプラグイン。
- <EM_Home>\examples\PowerPackforSharepointPortal¥product¥enterprisemanager¥plugins¥com.wily.powerpack.sharepoint.em.ext.tracefilter.jar
トランザクション追跡用のフィルタを設定するための Enterprise Manager 拡張機能のプラグイン。

- `<EM_Home>%examples%PowerPackforSharepointPortal%product%enterprisemanager%plugins%com.wily.powerpack.sharepoint.em.service.jar`
Enterprise Manager サービスでグラフィカル ビューを表示するためのプラグイン。
- `<EM_Home>%examples% PowerPackforSharepointPortal%scripts%Sharepoint-ActiveSites.js`
SharePoint Portal Web アプリケーション内で現在アクセスされているサイト数を提供するための JavaScript 計算機。
- `<EM_Home>%examples% PowerPackforSharepointPortal%ws-plugins%com.wily.powerpack.sharepoint.common.ext.tracefilter.jar`
トランザクション追跡用のフィルタを設定するための Workstation のプラグイン。
- `<EM_Home>%examples% PowerPackforSharepointPortal%ws-plugins%com.wily.powerpack.sharepoint.ws.ext.jar`
Workstation のプラグイン。
- `<EM_Home>%examples% PowerPackforSharepointPortal%ws-plugins%com.wily.powerpack.sharepoint.ws.ext.tracefilter.jar`
トランザクション追跡用のフィルタを設定するための Workstation のプラグイン。

3. すべてのファイルを正しい場所にコピーします。 `%examples%` ディレクトリ内の構成に基づいてファイルを配置します。

たとえば、以下のファイルをコピーします。

`com.wily.powerpack.sharepoint.common.ext.tracefilter.jar`

コピー元ディレクトリ

`<EM_Home>%examples%PowerPackforSharepointPortal%product%enterprisemanager%plugins%`

コピー先ディレクトリ

`<EM_Home>%product%enterprisemanager%plugins%`

注: クラスタ化されている CA APM の実装では、MOM Enterprise Manager 上と Collector Enterprise Manager 上の両方で、これらのファイルを移動します。

拡張機能のエージェントコンポーネントのインストール

CA APM for Microsoft SharePoint 用の .NET エージェント拡張機能をインストールするには、.NET エージェント インストーラを実行します。

次の手順に従ってください:

1. .NET エージェント インストーラを実行します。

注: 詳細については、「*CA APM .NET Agent 実装ガイド*」を参照してください。

2. 以下のタスクのいずれか 1 つを実行します。

- a. 拡張機能のインストールだけを行う場合は、アプリケーションサーバとして IIS を選択し、インストールディレクトリとして `<Agent_Home>` を指定します。

エージェントファイルはすべて `<Agent_Home>%wily` ディレクトリにコピーされます。

- b. 拡張機能をインストールして有効にするには、アプリケーションサーバとして IIS を選択し、インストールする CA APM for Microsoft SharePoint を選択し、インストールディレクトリとして `<Agent_Home>` を指定します。

エージェントファイルはすべて `<Agent_Home>%wily` ディレクトリにコピーされます。

3. `<Agent_Home>%wily` ディレクトリに以下のファイルが存在することを確認します。

以下のディレクトリパスでは Microsoft Windows のディレクトリ構文を使用しています。UNIX など、その他のインストールプラットフォームでは、「%」を「/」に置き換えます。

- `<Agent_Home>%wily%SharePoint.ext.dll`

SharePoint 用の依存ライブラリ。

- `<Agent_Home>%wily%sharepoint.pbl`

すべての PBD の一覧が記載されている ProbeBuilder リスト。

- `<Agent_Home>%wily%sharepoint-typical.pbd`

CA APM for Microsoft SharePoint のクリティカルなコンポーネントのパフォーマンスを監視する PBD。

- `<Agent_Home>%wily%sharepoint-full.pbd`
sharepoint-typical.pbd と同様の追跡に加えて、ページ、Web パーツ、およびリストのクリティカルなライフサイクルメソッドを監視する PBD。
- 4. 拡張機能をインストールして有効にしている場合は、`<Agent_Home>%wily` ディレクトリにある `IntroscopeAgent.profile` ファイル内の `introscope.autoprobe.directivesFile` プロパティに、PBL ファイルが以下のように追加されていることを確認します。
`introscope.autoprobe.directivesFile=sharepoint.pbl`
- 5. スタンドアロンエージェントのインストール時に拡張機能を有効にしていなかった場合、それを有効にするには、以下の手順を実行します。
 - a. `<Agent_Home>%wily` ディレクトリにある `IntroscopeAgent.profile` ファイル内の `introscope.autoprobe.directivesFile` プロパティに、以下の PBL ファイルを追加します。
`introscope.autoprobe.directivesFile=sharepoint.pbl`
 - b. `SharePoint.ext.dll` ファイルを、`<Agent_Home>%wily` ディレクトリから `<Agent_Home>%wily%ext` ディレクトリにコピーします。これで、拡張機能のエージェント コンポーネントが設定されました。

標準 PBD および完全 PBD 用の PBL ファイルの設定

拡張機能は、標準設定または完全設定のいずれかに設定できます。

- 標準設定では、SharePoint Portal およびそのコンポーネントの全体的なパフォーマンスのメトリックが表示されます。標準設定では、sharepoint-typical.pbd を有効にします。この PBD では、ポータルサーバのクリティカルなコンポーネントのパフォーマンスを監視するためにクリティカルなトレーサのみが有効になります。

- 完全設定では、SharePoint Portal のパフォーマンスが低いコンポーネントがテーブルビューに表示されます。完全設定では、sharepoint-full.pbd を有効にします。この PBD には、ポータルサーバのすべてのコンポーネントのパフォーマンスを監視するための、すべてのトレーサが含まれます。テーブルビューに基づいて、グラフィカルビューを生成することもできます。グラフィカルビューは、パフォーマンスが低いコンポーネントが SharePoint Portal Server 内のほかのコンポーネントにどのように影響するかをユーザが理解するのに役立ちます。

拡張機能用の PBL ファイルでは、デフォルトでは標準設定 (sharepoint-typical.pbd) が有効になり、完全設定 (sharepoint-full.pbd) が無効になっています。

次の手順に従ってください:

1. sharepoint.pbl ファイル内で、sharepoint-typical.pbd のエントリをコメント化するかまたは無効にし、sharepoint-full.pbd のエントリのコメント化を解除するかまたは有効にします。
2. IIS サーバを再起動します。
変更が反映されます。

sharepoint-typical PBD 用のメトリック

sharepoint-typical.pbd を使用している場合、Investigator ツリーには以下の構造が表示されます。

- SharePoint-Typical: 5 つのメトリック (Average Response Time、Concurrent Invocations、Errors Per Interval、Responses Per Interval、Stall Count)
- SharePoint|Application_layout Pages: 5 つのメトリック (Average Response Time、Concurrent Invocations、Errors Per Interval、Responses Per Interval、Stall Count)
- SharePoint|Site Collections: Active Sites (サイトの数)
注: [Active Sites] を表示するには、sharepoint-typical.pbd または sharepoint-full.pbd 内の TurnOn: SiteARTTracing トレーサおよび TurnOn: SiteRPITracing トレーサを有効にします。
- SharePoint|Site Collections: Page Hits (ページの数)

- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}: 5 つのメトリック (Average Response Time、Concurrent Invocations、Errors Per Interval、Responses Per Interval、Stall Count)
- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{site name}: 2 つのメトリック (Average Response Time、Responses Per Interval)

注: デフォルトでは、サイト用のメトリックは利用できません。それらのメトリックを Investigator に表示するには、サイト用のメトリックを有効にします。

ストールが発生する場合のみ、CA Introscope® は Stall Count メトリックを表示します。ストールは、ページ レベルまたは Web パーツ レベルのいずれかで発生する可能性があります。

ストールがページ レベルで発生する場合、CA Introscope® は以下のいずれかのパスでストールを表示します。

- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}|Pages|{Page Name}:Stall Count
- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}|Pages|{Page Name}|{Page lifecycle method}:Stall Count

ストールが Web パーツ レベルで発生する場合、CA Introscope® は以下のいずれかのパスでストールを表示します。

- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}|Pages|{Page Name}|Web Parts and Lists:Stall Count
- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}|Pages|{Page Name}|Web Parts and Lists|{Web Part lifecycle method}:Stall Count

詳細:

[sharepoint-full PBD 用のメトリック \(P. 31\)](#)

sharepoint-full PBD 用のメトリック

sharepoint-full.pbd を使用している場合、Investigator ツリーには以下の構造が表示されます。

- SharePoint-Full: 5 つのメトリック (Average Response Time、 Concurrent Invocations、 Errors Per Interval、 Responses Per Interval、 Stall Count)
- SharePoint|Application_layout Pages: 5 つのメトリック (Average Response Time、 Concurrent Invocations、 Errors Per Interval、 Responses Per Interval、 Stall Count)
- SharePoint|Site Collections: Active Sites (サイトの数)
注: [Active Sites] を表示するには、sharepoint-typical.pbd または sharepoint-full.pbd 内の TurnOn: SiteARTTracing トレーサおよび TurnOn: SiteRPITracing トレーサを有効にします。
- SharePoint|Site Collections: Page Hits (ページの数)
- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}: 5 つのメトリック (Average Response Time、 Concurrent Invocations、 Errors Per Interval、 Responses Per Interval、 Stall Count)
- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}: 2 つのメトリック (Average Response Time、 Responses Per Interval)
注: デフォルトでは、サイト コレクション用のメトリックは利用できません。それらのメトリックを Investigator に表示するには、サイト コレクション用のメトリックを有効にします。
- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}|Pages|{Page name}: 1 つのメトリック (Average Response Time)
- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}|Pages|{Page name}|Web Parts and Lists: 1 つのメトリック (Average Response Time)

ストールが発生する場合のみ、CA Introscope® は Stall Count メトリックを表示します。ストールは、ページ レベルまたは Web パーツ レベルのいずれかで発生する可能性があります。

ストールがページ レベルで発生する場合、CA Introscope® は以下のいずれかのパスでストールを表示します。

- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}|Pages|{Page Name}:Stall Count
- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}|Pages|{Page Name}|{Page Lifecycle method}:Stall Count

ストールが Web パーツ レベルで発生する場合、CA Introscope® は以下のいずれかのパスでストールを表示します。

- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}|Pages|{Page Name}|Web Parts and Lists:Stall Count
- SharePoint|Site Collections|{Site Collection name}|Sites|{Site name}|Pages|{Page Name}|Web Parts and Lists|{Web Part Lifecycle method}:Stall Count

PBD を使用して、[Active Sites]メトリックおよびサイト用のメトリックを表示する方法

1. [Active Sites] メトリックおよびサイト用のメトリックを表示するには、sharepoint-typical.pbd または sharepoint-full.pbd ファイルで TurnOn: SiteARTTracing トレーサおよび TurnOn: SiteRPITracing トレーサのコメント化を解除します。
2. IIS サーバを再起動します。

変更が反映されます。

これで、標準 PBD および完全 PBD 用の PBL ファイルが設定されました。

SPMonitor エージェントのアンインストール

SPMonitor エージェントはアンインストールできます。

次の手順に従ってください:

1. Windows サービスに移動して、CA Introscope® SPMonitor サービスを停止します。
2. SPMonitorAgent ディレクトリにある DeregisterSPMonitorWindowService.bat ファイルを実行します。
この操作は、Windows サービスから SharePoint Monitor エージェントを登録解除します。
3. インストール時に SPMonitorAgent フォルダがコピーされた関連するサーバで、SPMonitorAgent フォルダとその中のファイルを削除します。
これで、SPMonitor エージェントがアンインストールされました。

拡張機能をアンインストールする方法

CA APM for Microsoft SharePoint のアンインストール手順の概要は以下のとおりです。

1. [プロファイルファイルからエントリを削除します](#) (P. 33)。
2. [拡張機能のインストール時にコピーした関連するファイルおよびフォルダを削除します](#) (P. 34)。

プロファイル ファイルからのエントリの削除

プロパティに追加した PBL ファイルを削除します。

次の手順に従ってください:

1. <Agent_Home> ディレクトリにある IntroscopeAgent.profile ファイルを開いて、introscope.autoprobe.directivesFile プロパティから sharepoint.pbl を削除します。
2. IIS サーバを再起動します。

関連するファイルおよびフォルダの削除

関連するファイルおよびフォルダを削除して、拡張機能用のエージェントおよび Enterprise Manager コンポーネントを削除します。

次の手順に従ってください:

1. コンピュータを再起動します。
2. <Agent_Home> ディレクトリから sharepoint.pbl、sharepoint-typical.pbd、および sharepoint-full.pbd を削除します。
3. <Agent_Home>%ext ディレクトリから SharePoint.ext.dll を削除します。
4. Enterprise Manager を停止します。
5. 関連するディレクトリから以下のファイルを削除します。
 - <EM_Home>%config\modules ディレクトリ内の SharePoint_ManagementModule.jar。
 - <EM_Home>%product%enterprisemanager%plugins ディレクトリ内の com.wily.powerpack.sharepoint.common.ext.tracefilter.jar、com.wily.powerpack.sharepoint.ddtv.typeviews.jar、com.wily.powerpack.sharepoint.em.ext.listandwebpart.jar、com.wily.powerpack.sharepoint.em.ext.perfmon.jar、com.wily.powerpack.sharepoint.em.ext.tracefilter.jar、com.wily.powerpack.sharepoint.em.service.jar。
 - <EM_Home>%scripts ディレクトリ内の Sharepoint-ActiveSites.js。
 - <EM_Home>%ws-plugins ディレクトリ内の com.wily.powerpack.sharepoint.common.ext.tracefilter.jar、com.wily.powerpack.sharepoint.ws.ext.jar、com.wily.powerpack.sharepoint.ws.ext.tracefilter.jar。

これで、拡張機能がアンインストールされました。

第 3 章: 拡張機能の使用

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[拡張機能を使用した SharePoint Portal の監視 \(P. 35\)](#)

[ダッシュボードの表示 \(P. 37\)](#)

[メトリック グループおよびアラートの表示 \(P. 40\)](#)

[SharePoint Portal サービス メトリックおよびイベント情報の表示 \(P. 42\)](#)

[sharepoint-typical PBD を使用した SharePoint Portal およびそのコンポーネントの全体的なパフォーマンスの表示 \(P. 47\)](#)

[sharepoint-full PBD を使用したパフォーマンスが低いページの表示 \(P. 50\)](#)

[アクティブなサイトとページヒットの表示 \(P. 56\)](#)

[レイアウト ページメトリックの表示 \(P. 57\)](#)

[Web サービス メトリックの表示 \(P. 57\)](#)

[トランザクション追跡の表示 \(P. 58\)](#)

拡張機能を使用した SharePoint Portal の監視

Investigator およびコンソールでは、リアルタイムのメトリック データを表示できます。このデータは、SharePoint Portal の稼働状況、可用性、およびパフォーマンスを監視するのに役立ちます。

SharePoint Portal のメトリック

CA Introscope® は、SharePoint Portal 内の各オペレーションに対して以下のメトリックを表示します。

- **Average Response Time (平均応答時間) (ms)** : 特定のオペレーションまたはアクションを実行または呼び出すのにかかる平均時間。
- **Concurrent Invocations (同時進行中の呼び出し)** : 一定の時間に処理される要求の数 (処理量) 。
- **Errors Per Interval (間隔ごとのエラー数)** : 15 秒のタイム スライス内で CA Introscope® エージェントが記録したエラーの数。
- **Responses Per Interval (間隔ごとの応答数)** : 15 秒のタイム スライス内で完了した呼び出し数。
- **Stall Count (ストール数)** : 15 秒のタイム スライス内で、30 秒を超えて処理中のままになっているオペレーション、呼び出し、およびコールの数。

パフォーマンスが低いコンポーネント

拡張機能は、[詳細] タブの下のテーブル ビューに、パフォーマンスが低いコンポーネントを表示します。このテーブル ビューは、Investigator ツリーの SharePoint Portal のコンポーネントのメトリックが表示されているノードに対応しています。テーブル ビューに基づいて、グラフィカル ビューを生成することもできます。

パフォーマンスが低いコンポーネントのテーブル ビュー

テーブル ビューには以下の情報が表示されます。

- 最もパフォーマンスが低い SharePoint Portal のページ。
- デフォルトでは、ページは平均応答時間の順に並べ替えられます。

パフォーマンスが低いコンポーネントのグラフィカルビュー

平均応答時間を使用して、パフォーマンスが低いページを見つけた後、パフォーマンスが低いページの全体的な影響を表示できます。

SharePoint Portal では視覚的なビューまたはグラフィカルビューが表示されます。このテーブルビューでは、パフォーマンスが低いページとその他の SharePoint Portal コンポーネントの関係に関する概要情報が提供されます。このビューは、パフォーマンスが低いページが SharePoint Portal Server 内のほかのコンポーネントにどのように影響するかをユーザが理解するのに役立ちます。

ダッシュボードの表示

CA APM for Microsoft SharePoint のダッシュボードでは、アプリケーションのメトリックを統合してビューに表示するため、ユーザはそのビューを使用してアプリケーション環境を監視できます。ダッシュボードを使用することで、デプロイされているすべてのエージェントについてそのデータを集約して表示することができます。ダッシュボードは、問題を診断して解決するためのパフォーマンスに関する詳細な情報を提供します。

<EM_Home>%config%modules ディレクトリにある管理モジュール SharePoint_ManagementModule.jar ファイルは、CA APM for Microsoft SharePoint 用の事前定義済みダッシュボードを提供します。

ダッシュボードは以下の情報を提供します。

- アプリケーションの全般的な稼働状況とステータスを示すビュー。
- 実運用アプリケーション環境での問題をひと目で確認できる通知。
- 問題を識別することが可能なデータ。
- パフォーマンスの概要情報と詳細情報との間の事前に定義されたナビゲーション。

ダッシュボードはアプリケーション全体のヘルス状態を示すアラートと関連しています。各信号機の色には、対応するメトリックの値があります。

- 灰色は、使用できるデータがないことを表しています
- 緑は、「OK」を表しています。
- 黄は、「警告」を表しています。
- 赤は、「危険」を表しています。

次の手順に従ってください:

1. アプリケーションがインストールされていて、データを提供していることを確認します。
2. Enterprise Manager が実行されていることを確認します。
3. [スタート] - [プログラム] - [CA APM] - [Introscope <version>] - [Introscope Workstation] をクリックして、Workstation を起動します。
4. Workstation にログインします。
Workstation が表示されます。
5. [Workstation] - [新規コンソール] をクリックして Workstation コンソールに移動します。
6. ドロップダウンリストから以下のダッシュボードのいずれかを選択します。
 - SharePoint の概要
 - SharePoint サービス
 - SharePoint Web フロントエンド
7. (オプション) ダッシュボードを使用した詳細情報の表示

詳細:

[SharePoint サービスの表示](#) (P. 39)

ダッシュボード

ダッシュボードを使用することで、SharePoint Portal の稼働状況および可用性、およびそのサービスを監視できます。

SharePoint の概要

SharePoint Portal を監視するとき、最初に表示されるビューは概要ダッシュボードです。

このダッシュボードには、以下のものが表示されます。

- SharePoint Portal の全般的な稼働状況。
- 利用されているリソースの全般的な稼働状況。
- Web フロントエンドの全般的な稼働状況。
- SharePoint サービスの全般的な稼働状況。
- ユーザリソースの全般的な稼働状況。ユーザリソースに関連付けられているアラートは、IIS Web サーバの稼働状況を示します。
- アプリケーションイベントの全般的な稼働状況。
- データベースとそのオペレーションの全般的な稼働状況。

SharePoint Web フロントエンド

このダッシュボードには、以下のものが表示されます。

- アプリケーション、サイトコレクション、およびサイトの全般的な稼働状況。
- アクティブなサイト数。
- ページヒット。
- リソース使用のグラフ。

SharePoint サービスの表示

このダッシュボードは、以下のサービスの全般的な稼働状況を表示します。

- Cache
- Excel
- Form
- Search
- SSO
- Web Application

次の手順に従ってください:

- アラートをダブルクリックします。
アラートに関連付けられているダッシュボードが表示されます。
- ダッシュボード上のタブをダブルクリックします。
タブに関連付けられているダッシュボードが表示されます。

例:

[SharePoint の概要] ダッシュボード上の [Web フロントエンド] タブをダブルクリックします。

[SharePoint Web フロントエンド] ダッシュボードが表示されます。

- グラフまたはアラートを右クリックして、[リンク] を選択します。管理モジュールの対応するアラートに移動するか、または関連付けられているほかのダッシュボードに移動します。
- 最も遅い上位 10 個のメトリック データを表示しているグラフで、1 つのメトリックをダブルクリックします。
メトリックの詳細が Investigator に表示されます。

重要: [バックエンド] および [IIS パフォーマンス] ダッシュボードのデータを表示するには、CA APM for Microsoft SharePoint と共に Web サーバ用の拡張機能および CA Insight Bridge for CA Introscope® をインストールします。

メトリックグループおよびアラートの表示

管理モジュールエディタおよび Investigator を使用すると、SharePoint Portal 用のメトリックグループおよびアラートを表示できます。

次の手順に従ってください:

1. Investigator で、[Workstation] - [新規管理モジュールエディタ] の順にクリックします。
Management Module Editor が開きます。
2. 以下のノードを展開します。
 - a. Super Domain
 - b. Management Modules
 - c. SharePoint_Management Module

3. [Metric Grouping] ノードを展開します。
SharePoint Portal 用のすべてのメトリックグループが表示されます。
4. いずれかのメトリックグループをクリックします。
そのメトリックグループが [ビューア] ペインに表示されます。
5. [エレメント] - [新規メトリックグループ] の順にクリックすると、SharePoint Portal の管理モジュールに基づいた新しいメトリックグループが作成されます。

注: メトリックグループの作成および定義の詳細については、「CA APM 設定および管理ガイド」を参照してください。

管理モジュール エディタを使用して SharePoint Portal アラートを表示するには、以下の手順に従います。

1. Investigator で、[Workstation] - [新規管理モジュール エディタ] の順にクリックします。
Management Module Editor が開きます。
2. 以下のノードを展開します。
 - a. Super Domain
 - b. Management Modules
 - c. SharePoint_Management Module
3. [Alerts] ノードを展開します。
SharePoint Portal のすべてのアラートが表示されます。
4. アラートをクリックします。
そのアラートが [ビューア] ペインに表示されます。
5. [エレメント] - [新規アラート] をクリックして、アラートを作成します。

注: アラートの作成と定義の詳細については、「CA APM 設定および管理ガイド」を参照してください。

Investigator を使用して SharePoint Portal のアラートを表示する方法

1. Investigator で、以下のノードを展開します。
 - a. Super Domain
 - b. Custom Metric Host
 - c. Custom Metric Process
 - d. Custom Metric Agent
 - e. Alerts
2. [SharePoint_Management Module] ノードを展開します。
SharePoint Portal のすべてのアラートが表示されます。
3. アラートをクリックします。
アラートのステータスが [ビューア] ペインに表示されます。

SharePoint Portal サービス メトリックおよびイベント情報の表示

Investigator ツリーで SharePoint Portal サービスおよびイベント情報の可用性と稼働状況を表示できます。

この拡張機能では Windows Management Instrumentation (WMI) の使用により SharePoint 関連のイベントが特定されます。この拡張機能では、WMI を使用してすべての SharePoint サーバ上のアプリケーションイベントがすべて監視されます。SPEvents.list ファイルにリストされたイベントソースに一致する Windows イベントは、Enterprise Manager にレポートされます。

また、この拡張機能では、パフォーマンス監視 (PerfMon) カウンタにより SharePoint Portal サービスの稼働状況に関するメトリック データが収集されます。メトリックは Investigator ツリーに表示されます。

次の手順に従ってください:

注: [Workstation] - [新規 Investigator] および Investigator ツリーのノードをクリックすると、[ビューア] ペインがリフレッシュされ、正しい値が表示されます。

1. Investigator を開きます。
2. [SharePoint Monitor] - [SharePoint Services and Event Monitor Agent (*SuperDomain*)] - [SharePoint Monitor] - [SharePoint Services and Event Monitor Agent (*SuperDomain*)] - [SharePoint Monitor] - [Farm_name] ノードをクリックします。

注: Investigator ツリーに表示されたファーム名は SharePoint のデータベース名です。

[ビューア] ペインでは、デフォルトで [ファーム サービス概要] タブがアクティブになります。このタブには、すべてのファーム サーバの Excel、検索、シングルサインオン、および Web アプリケーションサービスのサービス可用性情報が表示されます。

3. [ビューア] ペインで [ファーム イベント概要] タブをクリックします。

タブに、すべてのファーム サーバのエラー数、情報数、および警告数のアラートが表示されます。

アラートのデフォルトのしきい値を以下に示します。

- エラー数については、警告しきい値は 5 で、危険しきい値は 10 です。
- 警告数については、警告しきい値は 25 で、危険しきい値は 50 です。

4. [**<Farm_name>**] ノードを展開し、ファームに属する [**<Server_name>**] をクリックします。

[ビューア] ペインでは、デフォルトで [サービス概要] がアクティブになります。このタブには、選択されたサーバの Excel、検索、シングルサインオン、および Web アプリケーションサービスのサービス可用性情報が表示されます。
5. [ビューア] ペインで [イベント概要] タブをクリックします。

タブに、選択されたサーバのエラー数、情報数、および警告数のアラートが表示されます。

アラートのデフォルトのしきい値を以下に示します。

 - エラー数については、警告しきい値は 5 で、危険しきい値は 10 です。
 - 警告数については、警告しきい値は 25 で、危険しきい値は 50 です。
6. [**<Server_name>**] ノードを展開し、[Applications Events] または [Services] を選択します。
 - [Application Events] を選択すると、[ビューア] ペインではデフォルトで [イベント概要] タブがアクティブになります。このタブには、選択されたサーバのエラー数、情報数、および警告数が表示されます。
 - [Services] を選択すると、[ビューア] ペインではデフォルトで [サービス概要] タブがアクティブになります。このタブには、選択されたサーバの Excel、検索、シングルサインオン、および Web アプリケーション サービスのサービス可用性情報が表示されます。

7. [Services] ノードを展開します。
以下のサブノードが表示されます。

- Cache
- Excel
- Form
- Search
- Single Sign-On
- Web Application

注: 監視対象のサーバ上でキャッシュまたはフォーム サービスがアイドルの場合、[Cache] ノードおよび [Form] ノードは表示されない場合があります。それぞれの PerfMon カウンタが利用可能な場合は、ノードが自動的に表示されます。

8. サブノードを展開します。
各サブノードのメトリックが表示されます。

注: サービスが利用可能でない場合、Investigator ツリーにはサービスのステータスが無効と表示されます。ツリーには、サービスのパフォーマンスメトリックは表示されません。

以下の表に、サブノードを選択したときに [ビューア] ペインに表示できる詳細の概要を示します。

サービス	表示内容
Cache	データなし。
[Cache] - [<パフォーマンス カテゴリ>]	選択された <パフォーマンス カテゴリ> の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるメトリックの集約データが、グラフィカルな形式で表示されます。
[Cache] - [<パフォーマンス カテゴリ>] - [<パフォーマンス カテゴリ インスタンス>]	選択された <パフォーマンス カテゴリ> の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるすべてのインスタンスのメトリックが、グラフィカルな形式で表示されます。
[Cache] - [<パフォーマンス カテゴリ>] - [<メトリック>]	選択されたメトリックのグラフィカルな形式のデータ。
Excel	グラフィカルな形式の Excel サービスのステータス値。

サービス	表示内容
[Excel] - [<パフォーマンス カテゴリ>]	選択された<パフォーマンス カテゴリ>の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるメトリックの集約が、グラフィカルな形式で表示されます。
[Excel] - [<パフォーマンス カテゴリ>] - [<メトリック>]	選択された<パフォーマンス カテゴリ>の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるすべてのインスタンスのメトリックが、グラフィカルな形式で表示されます。
Form	データなし。
[Form] - [<パフォーマンス カテゴリ>]	選択された<パフォーマンス カテゴリ>の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるメトリックの集約データが、グラフィカルな形式で表示されます。
[Form] - [<パフォーマンス カテゴリ>] - [<パフォーマンス カテゴリ インスタンス>]	選択された<パフォーマンス カテゴリ>の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるすべてのインスタンスのメトリックが、グラフィカルな形式で表示されます。
[Form] - [<パフォーマンス カテゴリ>] - [<メトリック>]	選択されたメトリックのグラフィカルな形式のデータ。
Search	グラフィカルな形式の検索サービスのステータス値。
[Search] - [<パフォーマンス カテゴリ>]	選択された<パフォーマンス カテゴリ>の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるメトリックの集約データが、グラフィカルな形式で表示されます。
[Search] - [<パフォーマンス カテゴリ>] - [<パフォーマンス カテゴリ インスタンス>]	選択された<パフォーマンス カテゴリ>の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるすべてのインスタンスのメトリックが、グラフィカルな形式で表示されます。
[Search] - [<パフォーマンス カテゴリ>] - [<メトリック>]	選択されたメトリックのグラフィカルな形式のデータ。
Single Sign-On	グラフィカルな形式のシングルサインオンサービスのステータス値。
[Single Sign-On] - [<パフォーマンス カテゴリ>]	選択された<パフォーマンス カテゴリ>の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるすべてのインスタンスのメトリックが、グラフィカルな形式で表示されます。

サービス	表示内容
[Single Sign-On] - [<パフォーマンス カテゴリ>]- [<メトリック>]	選択されたメトリックのグラフィカルな形式のデータ。
Web Application	グラフィカルな形式の Web アプリケーション サービスのステータス値。
[Web Application] - [<パフォーマンス カテゴリ>]	選択された <パフォーマンス カテゴリ> の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるメトリックの集約データが、グラフィカルな形式で表示されます。
[Web Application] - [<パフォーマンス カテゴリ>] - [<パフォーマンス カテゴリ インスタンス>]	選択された <パフォーマンス カテゴリ> の SPPerfCounters.list.xml で最小に設定されるすべてのインスタンスのメトリックが、グラフィカルな形式で表示されます。
[Web Application] - [<パフォーマンス カテゴリ>] - [<メトリック>]	選択されたメトリックのグラフィカルな形式のデータ。

SharePoint Portal サービス メトリックおよびイベント情報を表示しました。

各 SharePoint Portal のサービスに対して表示されるパフォーマンス監視 (PerfMon) メトリックの詳細については、「[PerfMon メトリック \(P. 63\)](#)」を参照してください。

sharepoint-typical PBD を使用した SharePoint Portal およびそのコンポーネントの全体的なパフォーマンスの表示

sharepoint-typical PBD を使用して、SharePoint Portal およびそのコンポーネントの全体的なパフォーマンスを Investigator ツリーに表示できます。CA Introscope® では、SharePoint Portal およびそのコンポーネントのメトリックを Investigator ツリーの [ビューア] ペインに表示します。

次の手順に従ってください:

1. <Agent_Home> ディレクトリにある sharepoint.pbl を開き、sharepoint-typical.pbd のエントリのコメント化が解除されていることを確認します。コメント化が解除されていない場合は、sharepoint-typical.pbd のエントリのコメント化を解除して有効にし、sharepoint.pbl ファイルを保存します。
2. sharepoint-typical.pbd のエントリのコメント化を解除した場合は、SharePoint Portal Server を再起動して、変更を有効にします。
3. Enterprise Manager が実行されていることを確認します。
4. [スタート] - [プログラム] - [CA APM] - [Introscope <version>] - [Introscope Workstation] をクリックして、Workstation を起動します。
5. Workstation にログインします。
Workstation が表示されます。
6. [Workstation] - [新規 Investigator] をクリックして Workstation Investigator に移動します。
7. Investigator で、[*SuperDomain*] - [<Host_name>] - [.NET Process] - [<Agent_name>] - [SharePoint-Typical] ノードをクリックします。または、以下のサブノードのいずれかをクリックして、メトリックを表示することができます。
 - Site Collections
 - <Site_Collection_name>
 - Sites
 - <Site_name>

[概要] タブはデフォルトでアクティブになっていて、SharePoint Portal およびそのコンポーネントの全体的なパフォーマンスを評価するためのメトリックが表示されます。

[概要] タブには、Investigator ツリーの各ノードの以下の情報が表示されます。

- **SharePoint-Full**

全体的なパフォーマンスを評価するために Web アプリケーションと関連付けられるすべてのメトリック用データ。SharePoint Portal が使用しているサイト コレクションはすべてテーブルにリスト表示されます。また、テーブルには各サイト コレクションの平均応答時間、同時進行中の呼び出し、間隔ごとのエラー数、間隔ごとの応答数、およびストール数が表示されます。

- **[SharePoint-Full] - [Site Collections]**

SharePoint Portal のページヒットおよびアクティブなサイトのメトリック用データ。SharePoint Portal のサイト コレクションはすべてテーブルにリスト表示されます。また、テーブルには各サイト コレクションの平均応答時間、同時進行中の呼び出し、間隔ごとのエラー数、間隔ごとの応答数、およびストール数が表示されます。

- **[SharePoint-Full] - [Site Collections] - [Site_Collection_name]**

全体的なパフォーマンスを評価するために選択されたサイト コレクションと関連付けられるすべてのメトリック用データ。選択されたサイト コレクションのサイトはすべてテーブルにリスト表示されます。また、テーブルには各サイトの平均応答時間、同時進行中の呼び出し、間隔ごとのエラー数、間隔ごとの応答数、およびストール数が表示されます。

- **[SharePoint-Full] - [Site Collections] - [<Site_Collection_name>] - [Sites]**

選択されたサイト コレクションのサイトがすべてテーブルに表示されます。また、テーブルには各サイトの平均応答時間および間隔ごとの応答数が表示されます。

- **[SharePoint-Full] - [Site Collections] - [<Site_Collection_name>] - [Sites] - [<Site_name>]**

パフォーマンスを評価するために選択されたサイトの平均応答時間および間隔ごとの応答数のメトリック用データ。

注: TurnOn : SiteARTTracing および TurnOn : SiteRPITracing トレーサが sharepoint-typical.pbd でコメント解除されている場合にのみ、平均応答時間および間隔ごとの応答数のメトリックが表示されます。

sharepoint-full PBD を使用したパフォーマンスが低いページの表示

sharepoint-full PBD を使用して、SharePoint Portal Server のパフォーマンスが低いページを Investigator ツリーに表示できます。パフォーマンスが低いページが、[ビューア] ペインのテーブルに表示されます。コンポーネントは平均応答時間でソートされます。テーブルに基づいたグラフィカルビューを生成し、SharePoint Portal のほかのコンポーネントにページが与えている影響を表示できます。

次の手順に従ってください:

1. <Agent_Home> ディレクトリにある sharepoint.pbl を開き、sharepoint-full.pbd のエントリのコメント化を解除して有効にし、sharepoint.pbl ファイルを保存します。
2. IIS サーバを再起動します。
変更が反映されます。
3. Enterprise Manager が実行されていることを確認します。
4. [スタート] - [プログラム] - [CA APM] - [Introscope <version>] - [Introscope Workstation] をクリックして、Workstation を起動します。
5. Workstation にログインします。
Workstation が表示されます。
6. [Workstation] - [新規 Investigator] をクリックして Workstation Investigator に移動します。
7. Investigator で、[*SuperDomain*] - [<Host_name>] - [.NET Process] - [<Agent_name>] - [SharePoint-Full] ノードをクリックします。または、以下のサブノードのいずれかをクリックして、パフォーマンスが低いコンポーネントを表示することができます。
 - Site Collections
 - <Site_Collection_name>
 - Sites
 - <Site_name>
 - Pages
 - <Page_name>

[ビューア] ペインでは、デフォルトで [詳細] タブがアクティブになります。選択したノードに応じて、ページのリストがテーブルに示されます。ノードおよび関連するページの詳細を以下に示します。

■ **SharePoint-Full**

SharePoint Portal に関するページのリストには、以下の情報が示されます。

- ページ名
- ページが属するサイトおよびサイト コレクション
- 各ページの平均応答時間

■ **[SharePoint-Full] - [Site Collections]**

サイト コレクションに関するページのリストには、以下の情報が示されます。

- ページ名
- ページが属するサイトおよびサイト コレクション
- 各ページの平均応答時間

■ **[SharePoint-Full] - [Site Collections] - [Site_Collection_name]**

選択されたサイト コレクションに関するページのリストには、以下の情報が示されます。

- ページ名
- ページが属するサイト
- 各ページの平均応答時間

■ **[SharePoint-Full] - [Site Collections] - [<Site_Collection_name>] - [Sites]**

選択されたサイト コレクションのすべてのサイトに関するページのリストには、以下の情報が示されます。

- ページ名
- ページが属するサイト
- 各ページの平均応答時間

- [SharePoint-Full] - [Site Collections] - [<Site_Collection_name>] - [Sites] - [<Site_name>]

選択されたサイト コレクションのすべてのサイトに関するページのリストには、以下の情報が示されます。

- ページ名
- 各ページの平均応答時間

注: TurnOn : SiteARTTracing および TurnOn : SiteRPITracing トレーサが sharepoint-full.pbd でコメント解除されている場合にのみ、平均応答時間および間隔ごとの応答数のメトリックが表示されます。

- [SharePoint-Full] - [Site Collections] - [<Site_Collection_name>] - [Sites] - [<Site_name>] - [Pages]

選択されたサイト コレクションのすべてのサイトに関するページのリストには、以下の情報が示されます。

- ページ名
- 各ページの平均応答時間

- [SharePoint-Full] - [Site Collections] - [<Site_Collection_name>] - [Sites] - [<Site_name>] - [Pages] - [<Page_name>]

選択されたページおよびページの平均応答時間を含むサイトおよびサイト コレクションのリスト。

8. [上位 N 件] ドロップダウン リストから数を選択します。

注: ここで、N は 10、100、または 500 です。また、[上位 N 件] には 10、100、500 以外の数を入力することもできます。

重要: [上位 N 件] の数が 25 を超えると、Workstation のパフォーマンスに影響が生じることがあります。

たとえば、[上位 N 件] ドロップダウン リストで 10 を選択すると、パフォーマンスが低いページの上位 10 件が表示されます。

9. テーブルからページを選択して、[詳細] をクリックします。

テーブルには、選択されたページを含むサイトとサイト コレクションおよび平均応答時間が表示されます。

テーブルには、パフォーマンスが低いサイトおよびサイト コレクションの上位 10 件のみが表示されます。

10. [グラフを生成] をクリックします。

テーブル内の情報に基づいてグラフィカル ビューが表示されます。グラフィカル ビューに以下の詳細が表示されます。

- ルート名 (SharePoint)。
- ノードのサイト コレクション、サイトおよびページ。
- グラフの各レベルにおいて、表示されるノードの数は 20 に制限されています。
- グラフ内のノードおよびエッジの適切な場所には、平均応答時間と間隔ごとの応答数の値が設定されています。
- 各ノードタイプは、コンポーネントに対する一意のアイコンで識別されます。

以下のアイコンが各ノードタイプに関連付けられます。



ルート ノード



サイト コレクション



サイト



ページ

- グラフを生成するためにテーブルビューで使用されるコンポーネントは、青色の背景で強調表示されます。

関連するアイコンを使用して、グラフ上で以下のアクションを実行できます。



パン



マーカー ズーム



対話型ズーム



画面に合わせる



GIF、JPEG、PNG、または PDF 形式でグラフを保存。

- [戻る] をクリックして、パフォーマンスが低いコンポーネントをリスト表示するテーブルビューに戻ります。

重要: テーブルビューは更新されたビューです。グラフを保持する場合は、[戻る] をクリックする前に、グラフを保存します。

11. [ビューア] ペインで [概要] タブをクリックします。

[概要] タブには、Investigator ツリーの以下のノードおよび関連情報が表示されます。

- **SharePoint-Full**

全体的なパフォーマンスを示す Web アプリケーションと関連付けられるすべてのメトリック用データ。SharePoint Portal が使用するサイト コレクションはすべてテーブルにリスト表示されます。また、テーブルには各サイト コレクションの平均応答時間、同時進行中の呼び出し、間隔ごとのエラー数、間隔ごとの応答数、およびストール数が表示されます。

- **[SharePoint-Full] - [Site Collections]**

SharePoint Portal のページ ヒットおよびアクティブなサイトのメトリック用データ。SharePoint Portal のサイト コレクションはすべてテーブルにリスト表示されます。また、テーブルには各サイトコレクションの平均応答時間、同時進行中の呼び出し、間隔ごとのエラー数、間隔ごとの応答数、およびストール数が表示されます。

- **[SharePoint-Full] - [Site Collections] - [Site_Collection_name]**

全体的なパフォーマンスを評価するために選択されたサイト コレクションと関連付けられるすべてのメトリック用データ。選択されたサイト コレクションのサイトはすべてテーブルにリスト表示されます。また、テーブルには各サイトの平均応答時間、同時進行中の呼び出し、間隔ごとのエラー数、間隔ごとの応答数、およびストール数が表示されます。

- **[SharePoint-Full] - [Site Collections] - [<Site_Collection_name>] - [Sites]**

選択されたサイト コレクションのサイトがすべてテーブルに表示されます。また、テーブルには各サイトの平均応答時間および間隔ごとの応答数が表示されます。

- **[SharePoint-Full] - [Site Collections] - [<Site_Collection_name>] - [Sites] - [<Site_name>]**

全体的なパフォーマンスを評価するために選択されたサイトの平均応答時間および間隔ごとの応答数のメトリック用データ。選択されたサイトのページはすべてテーブルにリスト表示されます。また、テーブルには各ページの平均応答時間が表示されます。

- **[SharePoint-Full] - [Site Collections] - [<Site_Collection_name>] - [Sites] - [<Site_name>] - [Pages]**

選択されたサイトのページはすべてテーブルにリスト表示されます。また、テーブルには各ページの平均応答時間が表示されます。

- **[SharePoint-Full] - [Site Collections] - [<Site_Collection_name>] - [Sites] - [<Site_name>] - [Pages] - [<Page_name>]**

選択されたページの平均応答時間とストール数のメトリック用のデータ。選択されたページの Web パーツおよびリスト用の平均応答時間とストール数のメトリック。

Investigator で sharepoint-full.pbd、テーブル ビューおよびグラフィカル ビューを使用して、パフォーマンスが低いページが表示されました。SharePoint Portal 内のほかのコンポーネントに与える影響を表示することができます。

アクティブなサイトとページヒットの表示

この拡張機能では、JavaScript の計算機を使用して、SharePoint Portal のアクティブなサイトおよびページヒットを計算します。

次の手順に従ってください:

1. アプリケーションがインストールされていて、データを提供していることを確認します。
2. Enterprise Manager が実行されていることを確認します。
3. [スタート] - [プログラム] - [CA APM] - [Introscope <version>] - [Introscope Workstation] をクリックして、Workstation を起動します。
4. Workstation にログインします。

Workstation が表示されます。

5. [Workstation] - [新規 Investigator] をクリックして Workstation Investigator に移動します。
6. [Active Sites] を表示するには、sharepoint-typical.pbd または sharepoint-full.pbd 内の TurnOn: SiteARTTracing トレーサおよび TurnOn: SiteRPITracing トレーサを有効にします。
7. Investigator で、[*SuperDomain*] - [<Host_name>] - [.NET Process] - [<Agent_name>] - [SharePoint_Full] - [Site Collection] - [Active Sites] をクリックします。
SharePoint Portal で現在アクティブなサイトの数が [ビューア] ペインに表示されます。
8. Investigator で、[*SuperDomain*] - [<Host_name>] - [.NET Process] - [<Agent_name>] - [SharePoint_Full] - [Site Collection] - [Page Hits] をクリックします。
SharePoint Portal のページヒット数が [ビューア] ペインに表示されます。

レイアウト ページ メトリックの表示

レイアウト ページは、ページ全体の外観を定義するテンプレート ファイルです。 ページのコンテンツはページ上のフィールドに保存されます。 Investigator でレイアウト ページのメトリックを表示できます。

次の手順に従ってください:

1. アプリケーションがインストールされていて、データを提供していることを確認します。
2. Enterprise Manager が実行されていることを確認します。
3. [スタート] - [プログラム] - [CA APM] - [Introscope <version>] - [Introscope Workstation] をクリックして、Workstation を起動します。
4. Workstation にログインします。

Workstation が表示されます。

5. [Workstation] - [新規 Investigator] をクリックして Workstation Investigator に移動します。

使用する設定に応じて、SharePoint Portal のレイアウト ページに固有のメトリックが以下のノード下に表示されます。

```
[*SuperDomain*]-[Host_name]-[.NET Process]-[<Agent_name>]-[SharePoint_Typical]  
- [Application_layout Pages]
```

または

```
[*SuperDomain*]-[<Host_name>]-[.NET Process]-[<Agent_name>]-[SharePoint_Full]  
- [Application_layout Pages]
```

6. [Application_layout Pages] ノードを展開します。

レイアウト ページのメトリックが SharePoint Portal に表示されます。

Web サービス メトリックの表示

CA APM for Microsoft SharePoint を使用して、Web サービスのメトリックを表示できます。

次の手順に従ってください:

1. アプリケーションがインストールされていて、データを提供していることを確認します。
2. Enterprise Manager が実行されていることを確認します。

3. [スタート] - [プログラム] - [CA APM] - [Introscope <version>] - [Introscope Workstation] をクリックして、Workstation を起動します。
4. Workstation にログインします。
Workstation が表示されます。
5. [Workstation] - [新規 Investigator] をクリックして Workstation Investigator に移動します。
6. SharePoint Portal に固有のメトリックが、以下のノード下に表示されます。
[*SuperDomain*] - [<Host_name>] - [.NET Process] - [Agent_name] - [WebServices]
7. [WebServices] ノードを展開します。
利用可能な Web サービスおよびメトリックが表示されます。

注: Investigator に表示される Web サービスおよびメトリックは、アプリケーションが使用する SharePoint Portal リソースによって異なります。

詳細:

[監視される Web サービス \(P. 109\)](#)

トランザクション追跡の表示

トランザクション追跡機能を使用して、遅いトランザクションを含む SharePoint Portal ページを特定できます。標準的なトランザクション中にページにアクセスすると、ページに以下の情報が表示されます。

- Web パーツおよびリストを使用したコンテンツおよびコラボレーションエレメント。
- ナビゲーション情報およびロゴなど追加のエレメント。

SharePoint Portal の要求が停止した場合は必ず、[トランザクション追跡ビューア] ウィンドウにレポートが表示されます。

Workstation で各トランザクションのしきい値の制限を指定できます。このしきい値制限は SharePoint Portal Server に伝達されます。トランザクションのいずれかがこの値を超えた場合、SharePoint Portal Server はトランザクション追跡メッセージを作成します。サーバから Investigator にメッセージが送信されます。トランザクション追跡を使用して、トランザクションの詳細にドリルダウンできます。また、SharePoint Portal Server で、特定の要求のさまざまなトランザクションにかかる時間を確認することもできます。

.NET エージェントは、以下について追跡するトランザクション追跡データを収集します。

- 継続時間しきい値を超過
- 設定時間内に発生

次の手順に従ってください：

1. [Workstation] > [新規トランザクション追跡セッション] をクリックします。

[新規トランザクション追跡セッション] ダイアログ ボックスが開きます。

2. 以下の手順を実行します。

- a. [追跡トランザクション] セクションで [最小トランザクション継続時間] チェック ボックスを選択し、値を秒単位またはミリ秒単位で指定して、しきい値を設定します。
- b. [追跡トランザクション] セクションでドロップダウン リストを使用して、トランザクション追跡に対してフィルタを設定します。[リスト名]、[ページ名]、[サイト名]、[サイト コレクション名]、[Web パーツ名] または [Web パーツ クラス名] を選択して、フィルタを設定できます。

注：トランザクション追跡に対してフィルタを設定する方法の詳細については、「CA APM 設定および管理ガイド」を参照してください。

- c. [追跡セッション期間 (分)] テキストフィールドに値を入力します。この値は、追跡セッションの継続時間を指定します。
 - d. [追跡エージェント] セクションの [選択したエージェントを追跡] を選択します。追跡するエージェントを1つ以上選択します。
3. [OK] をクリックします。

追跡が開始されます。[トランザクション追跡ビューア] に、指定した値を超過したトランザクションが表示されます。

Transaction Trace Viewer[Transaction Trace Viewer]

[トランザクション追跡ビューア] には、追跡セッションの条件を満たすトランザクションの追跡情報が表示されます。

追跡のプロファイルを確認するには、[サマリ ビュー]、[追跡ビュー] および [ツリー ビュー] タブを使用します。

例: SharePoint Portal ページにアクセスする要求

この例では、SharePoint Portal ページにアクセスする要求を示します。このページでは、トランザクションの実行に 22000 ミリ秒 (22 秒) より少し長くかかります。5 秒のしきい値に対して、以下の情報が [サマリ ビュー] に表示されます。

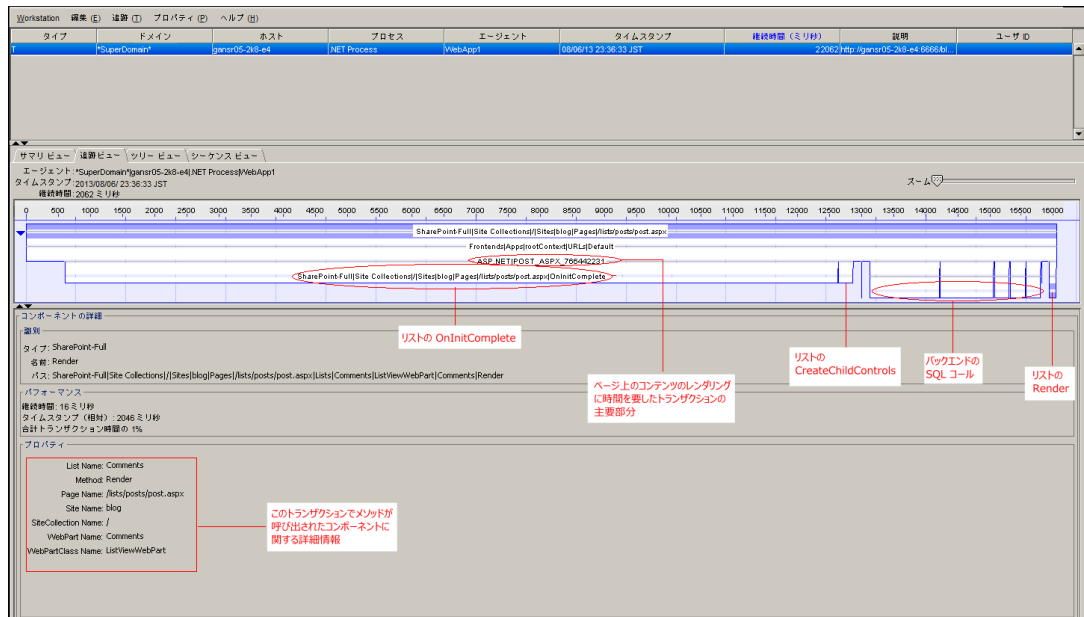
- 特定のトランザクションが実行する呼び出し。
- [追跡ビュー] にかかる時間。

このスクリーンショットには、トランザクション追跡セッションの「サマリービュー」が表示されています。

タイプ	ドメイン	ホスト	プロセス	エージェント	タイムスタンプ	継続時間 (ミリ秒)	説明	ユーザ ID
T	SuperDomain	ganar05-268-e4	NET Process	WebApp1	08/06/13 23:36:33 JST	22062	http://ganar05-268-e4-666666	

パス	呼び出し数	コール時間 (ミリ秒)	最小値	平均	最大値
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)LinksListViewWebPartLinksCreateChildControls	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)CommentsListFormWebPartNew CommentCreateChildControls	1	31	31	31	31
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)CategoriesListViewWebPartCategoriesOnPreRender	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)CategoriesListViewWebPartNew CommentRender	1	0	0	0	0
Backends\WebApp1_MSS_Content(SQLDynamic)Query(SELECT T1. [TYPE] AS CO, USERDATA, [NTEXT2], T2. [NVARCHAR1 AS C22C6, T3. [NVARCHAR...	1	109	109	109	109
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Web Parts)SearchBoxE(SearchBoxE)CreateChildControls	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)CategoriesListViewWebPartCategoriesCreateChildControls	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)CategoriesListViewWebPartCategoriesRender	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(OnInit)Complete	1	21547	21547	21547	21547
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)LinksListViewWebPartLinksRender	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)PostsListViewWebPartPostsRender	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Render)	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)PostsListViewWebPartPostsCreateChildControls	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)CommentsListViewWebPartCommentsOnPreRender	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)CommentsListViewWebPartCommentsRender	1	0	0	0	0
Backends\WebApp1_MSS_Content(SQLDynamic)Query(SELECT T1. [TYPE] AS CO, USERDATA, [NTEXT2], T2. [TP_ID AS C10C12, USERDATA, [DATETIME...	1	141	141	141	141
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)CommentsListFormWebPartNew CommentOnPreRender	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Web Parts)SearchBoxE(SearchBoxE)OnPreRender	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)Other BlogsListViewWebPartOther BlogsOnPreRender	1	0	0	0	0
ASP.NETPOST_ASPX_769442231	1	124	124	124	124
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)CommentsListViewWebPartCommentsRender	1	16	16	16	16
Backends\WebApp1_MSS_Content(SQLDynamic)Query(SELECT T1. [TYPE] AS CO, USERDATA, [TP_ID], T1. [SCOPEID AS CA, USERDATA, [TP_CREATED I...	1	31	31	31	31
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)PostsListViewWebPartPostsOnPreRender	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)CommentsListViewWebPartCommentsCreateChildControls	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Web Parts)SearchBoxE(SearchBoxE)OnInit	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)Other BlogsListViewWebPartOther BlogsCreateChildControls	1	0	0	0	0
Backends\WebApp1_MSS_Content(SQLDynamic)Query(SELECT T1. [TYPE] AS CO, USERDATA, [NVARCHAR3], USERDATA, [TP_ID], T1. [SCOPEID AS C4...	2	63	31	31	32
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)Other BlogsListViewWebPartOther BlogsOnPreRender	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Lists)Other BlogsListViewWebPartOther BlogsRender	1	0	0	0	0
Backends\WebApp1_MSS_Content(SQLDynamic)Query(SELECT T1. [TYPE] AS CO, USERDATA, [NTEXT2], USERDATA, [DATETIME1], T3. [TP_ID AS C10C...	1	0	0	0	0
SharePoint-FullSite Collections(Sites)BlogPages(Posts)post.aspx(Web Parts)SearchBoxE(SearchBoxE)Render	1	0	0	0	0
FrontendAppropContextURLDefault	1	0	0	0	0

このスクリーンショットには、トランザクション追跡セッションの「追跡ビュー」が表示されています。



SharePoint Portal Server がページをレンダリングする要求を受信するとき、以下の呼び出しが実行されます。

- OnInitComplete
- CreateChildControls
- Render

リストのライフサイクルメソッドが実行された後、ページがレンダリングされます。SharePoint Portal Server がページをレンダリングするのにかかった時間のミリ秒数または秒数を確認することができます。アプリケーションサポートスペシャリストは、CA APM for Microsoft SharePoint および CA Introscope® を使用して、特定の要求のさまざまなトランザクションにかかる時間を確認できます。

注: トランザクション追跡機能を使用する方法の詳細については、「CA APM Workstation ユーザガイド」を参照してください。

付録 A: メトリック

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[メトリック テーブルの確認方法について](#) (P. 63)

[SharePoint Publishing Cache](#) (P. 64)

[Office Server Search Archival Plug-in/OSS Search Archival Plug-in](#) (P. 66)

[Office Server Search Gatherer Projects/OSS Search Gatherer Projects](#) (P. 67)

[Office Server Search Gatherer/OSS Search Gatherer](#) (P. 73)

[Office Server Search Indexer Catalogs/OSS Search Indexer Plugin](#) (P. 81)

[Office Server Search Schema Plugin/OSS Search Schema Plugin](#) (P. 88)

[OSS Secure Store Credentials](#) (P. 88)

[OSS Secure Store Tickets](#) (P. 89)

[Excel Calculation Services](#) (P. 89)

[Excel Services Web フロントエンド/Excel Services アプリケーション Web フロントエンド](#) (P. 91)

[Excel Web Access/Excel Services アプリケーションブラウザ](#) (P. 91)

[Microsoft シングルサインオン](#) (P. 92)

[InfoPath Forms Services/InfoPath Forms Services 14](#) (P. 94)

[Web サービス](#) (P. 96)

メトリック テーブルの確認方法について

以下の表に、SharePoint のさまざまなバージョンでサポートされているメトリック データの例を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Metric A	2007	M	Metric A の説明。
Metric B	2010	F	Metric B の説明。
Metric C	両方	R	Metric C の説明。

「サポートされている SharePoint のバージョン」の列に示されているように、以下のバージョンがサポートされています。

- **2007** — このメトリックは SharePoint 2007 でサポートされています。

- **2010** — このメトリックは SharePoint 2010 でサポートされています。
- **両方** — このメトリックは SharePoint 2007 および 2010 の両方でサポートされています。

「監視レベル」の列には、SPMonitor.properties 設定ファイルの設定に基づいてシステムがメトリックをレポートする、メトリック監視レベルを示します。

- **M** — システム設定を[最小]に設定している場合、ステータス メトリックの最小のメトリックセットがレポートされます。
- **F** — システム設定を [フル] に設定している場合、完全なメトリックセットがレポートされます。セットにはすべての監視対象メトリックが含まれます。
- **R** — この設定がデフォルトです。この設定では、sharepoint.farm.monitor.service.excel.recommended.list 設定プロパティを使用して調整可能な、推奨されるメトリック セットがレポートされます。

SharePoint Publishing Cache

以下の表に、SharePoint Publishing Cache のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Publishing cache flushes / second	両方	M	サイト変更によりキャッシュを更新するレート。
Publishing cache hit count	両方	M	発行キャッシュ上のヒットの総数。
Publishing cache hit ratio	両方	M	発行キャッシュ上のヒットおよびミスの比率。
Publishing cache hits / sec	両方	M	発行キャッシュ上のヒットのレート。
Publishing cache miss count	両方	M	発行キャッシュ上のミスの総数。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Publishing cache flushes / second	両方	M	サイト変更によりキャッシュを更新するレート。
Publishing cache misses / sec	両方	M	発行キャッシュ上のミスのレート。
Total blob disk size	2007	F	このキャッシュがディスクで取得するサイズの合計（該当する場合）。
Total blob index writes	2007	F	ディスクベースのキャッシュインデックスをディスクに書き込んだ回数の合計（該当する場合）。
Total number of cache compactions	両方	F	サイズが原因でキャッシュを圧縮した回数の合計。
Total number of cache flushes	両方	R	サイト変更によりキャッシュを更新した回数の合計。
Total number of objects added	両方	F	キャッシュに追加されたオブジェクトの総数。
Total object discards	両方	R	キャッシュ圧縮のため発行キャッシュから破棄されたアイテムの総数。
Total objects	両方	F	発行キャッシュ内のオブジェクトの総数。

Office Server Search Archival Plug-in/OSS Search Archival Plug-in

以下の表に、Office Server Search Archival Plug-in のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Active docs in first queue	2007	R	最初のキューをアクティブに使用するドキュメントの総数。
Active docs in second queue	2007	R	2 番目のキューをアクティブに使用するドキュメントの総数。
Active Queue	2007	R	現在アクティブなキュー。
Blocked documents	両方	M	キュー待機中のドキュメントの総数。
Bulk Insert Sessions	両方	F	データベース サーバへの一括挿入用アクティブセッションの数。
Error documents	両方	M	プラグインからエラーを返したドキュメントの総数。
Retried documents	両方	M	プラグインからの再試行に対してマークされたドキュメントの総数。
Total docs in first queue	両方	F	最初のキューを使用したドキュメントの総数。
Total docs in second queue	両方	F	2 番目のキューを使用したドキュメントの総数。
Total Documents	両方	M	処理されたドキュメントの総数。
Queues Available	2010	R	Queues Available メトリック。
Queues Filtering	2010	F	Queues Filtering メトリック。
Queues Waiting	2010	R	Queues Waiting メトリック。
Queues Committing	2010	F	Queues Committing メトリック。

Office Server Search Gatherer Projects/OSS Search Gatherer Projects

以下の表に、Office Server Search Gatherer Projects のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessed File Rate	両方	R	1 秒あたりのファイル システムを使用してアクセスされたドキュメントの総数。
Accessed Files	両方	F	ファイル システムを使用してアクセスされたドキュメントの総数。
Accessed HTTP	両方	F	HTTP を使用してアクセスされたドキュメントの総数。
Accessed HTTP Rate	両方	R	1 秒あたりの HTTP を使用してアクセスされたドキュメントの総数。
Adaptive Crawl Accepts	2007	F	アダプティブ クロールが受理したドキュメント。
Adaptive Crawl Error Samples	2007	F	エラー サンプリングに対してアクセスされるドキュメント。
Adaptive Crawl Errors	2007	F	アダプティブ クロールが不正確に拒否したドキュメント。
Adaptive Crawl Excludes	2007	F	アダプティブ クロールが除外したドキュメント。
Adaptive Crawl False Positives	2007	F	アダプティブ クロールが不正確に受理したドキュメント。
Adaptive Crawl Total	2007	F	アダプティブ クロール ロジックで適用されたドキュメント。
Changed Documents	2007	F	最後のクロール以降に変更されたドキュメント。
Crawls in progress	両方	M	進行中のクロールの総数。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessed File Rate	両方	R	1秒あたりのファイルシステムを使用してアクセスされたドキュメントの総数。
Delayed Documents	2007	M	最後のクロール以降遅れたドキュメント。
Document Add Rate	2007	M	1秒あたりのドキュメント追加の総数。
Document Additions	2007	F	追加通知の総数。
Document Delete Rate	2007	M	1秒あたりの変更通知の総数。
Document Deletes	2007	F	変更通知の総数。
Document Modifies	2007	F	まだ処理されていないドキュメントの総数。この数がゼロになると、カタログはアイドルになります。この数は、Gatherer で処理されていないドキュメントの合計のキューサイズを示します。
Document Modifies Rate	2007	M	進行中のドキュメントの総数。
Document Move and Rename Rate	2007	F	1秒あたりのドキュメント削除の総数。
Document Moves/Renames	2007	F	削除通知の総数。
Documents In Progress	2007	R	進行中のドキュメントの総数。
Documents On Hold	2007	R	同じ URL を持ったドキュメントが現在進行中のため、保留中のドキュメントの総数。
Error Rate	2007	M	1秒あたりの、エラーを返したフィルタ処理されたドキュメントの総数。
File Errors	両方	R	ドキュメントで受信されたファイルプロトコルエラーの総数。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessed File Rate	両方	R	1秒あたりのファイルシステムを使用してアクセスされたドキュメントの総数。
File Errors Rate	両方	M	1秒あたりの受信したファイルプロトコルエラーの総数。
Filtered HTML	両方	F	フィルタ処理された HTML ドキュメントの総数。
Filtered HTML Rate	両方	R	1秒あたりのフィルタ処理された HTML ドキュメントの総数。
Filtered Office	両方	F	フィルタ処理された Office ドキュメントの総数。
Filtered Office Rate	両方	F	1秒あたりのフィルタ処理された Office ドキュメントの総数。
Filtered Text	両方	F	フィルタ処理されたテキストドキュメントの総数。
Filtered Text Rate	両方	F	1秒あたりのフィルタ処理されたテキストドキュメントの総数。
Gatherer Paused Flag	両方	R	Gatherer Paused Flag は、 Gatherer が一時停止しているかどうかを示します。
History Recovery Progress	2007	F	完了した履歴回復のパーセンテージ。
HTTP Errors	2007	R	受信した HTTP エラーの総数。
HTTP Errors Rate	2007	M	1秒あたりの受信した HTTP エラーの総数。
Incremental Crawls	両方	F	進行中の増分クロールの総数。
Iterating History In Progress Flag	2007	F	Iterating History In Progress Flag は、 Gatherer が現在、URL 履歴を反復処理しているかどうかを示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessed File Rate	両方	R	1秒あたりのファイルシステムを使用してアクセスされたドキュメントの総数。
Not Modified	2007	R	最後のクロール以降変更がないためにフィルタ処理されなかったドキュメントの総数。
Processed Documents	2007	M	履歴がリセットされて以降処理されたドキュメントの総数。
Processed Documents Rate	2007	M	1秒あたりの処理されたドキュメントの総数。
Recovery In Progress Flag	2007	R	Recovery In Progress Flag
Retries	両方	R	ドキュメントアクセスが再試行された回数の合計。数が大きい場合、データアクセスに関する問題を示している可能性があります。
Retries Rate	両方	M	1秒あたりの再試行の総数。
Started Documents	2007	R	Gatherer サービスへ開始されたドキュメントの総数。合計には、ドキュメントの全ロット（保留中のドキュメント、アクティブなキューにあるドキュメント、現在フィルタ処理されているドキュメント）が含まれます。この数がクロール中にゼロになると、そのクロールは完了するところです。
Status Error	2007	M	エラーを返したフィルタ処理されたドキュメントの総数。
Status Success	2007	F	正常にフィルタ処理されたドキュメントの総数。
Success Rate	2007	F	1秒あたりの正常にフィルタ処理されたドキュメントの総数。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessed File Rate	両方	R	1秒あたりのファイルシステムを使用してアクセスされたドキュメントの総数。
Unique Documents	2007	F	システム内の一意のドキュメントの総数。同じコンテンツを持ったドキュメントは、一意と見なされません。
URLs in History	2007	F	履歴リスト内のファイル (URL) の総数。合計は、インデックスを付けられたドキュメントコーパスの全サイズを示します。
Waiting Documents	2007	M	まだ処理されていないドキュメントの総数。この数がゼロに等しくなると、カタログはアイドルになります。この数は、Gatherer で処理されていないドキュメントの合計のキューサイズを示します。
Documents Success	2010	M	Documents Success メトリック。
Documents Success Rate	2010	R	Documents Success Rate メトリック。
Documents Error	2010	M	Documents Error メトリック。
Documents Error Rate	2010	R	Documents Error Rate メトリック。
Documents Processed	2010	M	Documents Processed メトリック。
Documents Processed Rate	2010	T	Documents Processed Rate メトリック。
Documents Deleted	2010	M	Documents Deleted メトリック。
Documents Not Modified	2010	F	Documents Not Modified メトリック。
Documents Security Only	2010	F	Documents Security Only メトリック。
Transactions In Progress	2010	M	Transactions In Progress メトリック。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessed File Rate	両方	R	1秒あたりのファイルシステムを使用してアクセスされたドキュメントの総数。
Transactions On Hold	2010	R	Transactions On Hold メトリック。
Transactions Delayed	2010	M	Transactions Delayed メトリック。
Transactions Waiting	2010	R	Transactions Waiting メトリック。
Transactions Completed	2010	F	Transactions Completed メトリック。
Transactions Started	2010	F	Transactions Started メトリック。
Transactions in filters	2010	F	Transactions in filters メトリック。
Gatherer Recovery In Progress Flag	2010	F	Gatherer Recovery In Progress Flag メトリック。
Gatherer Locked Flag	2010	R	Gatherer Locked Flag メトリック。
Links discovered	2010	F	Links discovered メトリック。
Links discovered and not crawled	2010	R	Links discovered and not crawled メトリック。
Documents NoIndex	2010	F	Documents NoIndex メトリック。
Documents Security Only Error	2010	M	Documents Security Only Error メトリック。
Transactions in the locked queue	2010	M	Transactions in the locked queue メトリック。
Gatherer Master Flag	2010	F	Gatherer Master Flag メトリック。

Office Server Search Gatherer/OSS Search Gatherer

以下の表に、Office Server Search Gatherer のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessing Robots.Txt File	両方	R	robots.txt に対する現在の要求の総数。すべてのシステムでは、HTTP を介して、すべてのホストに robots.txt が暗黙的に要求されます。
Active Queue Length	両方	M	ロボットスレッドを待機中のドキュメントの総数。この値が 0 でない場合は、すべてのスレッドをフィルタ処理する必要があります。
Admin Clients	両方	F	現在接続している管理クライアントの総数。
All Notifications Received	2007	F	ファイルシステムを含むすべての通知ソースから受信した通知の総数。
Delayed Documents	両方	M	サイトヒット頻度ルールにより遅れているドキュメントの総数。
Document Entries	両方	M	現在メモリに入っているドキュメントエントリの総数。0 はインデックス作成処理が行われていないことを示します。
Documents Delayed Retry	2007	M	タイムアウトした際に再試行されるドキュメントの総数。この数が 0 でない場合は、クロール中のローカルサーバがシャットダウンしていることを示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessing Robots.Txt File	両方	R	robots.txt に対する現在の要求の総数。すべてのシステムでは、HTTP を介して、すべてのホストに robots.txt が暗黙的に要求されます。
Documents Filtered	両方	F	フィルタ オブジェクトが作成された合計回数。この値は、システムの起動後にそのシステムでフィルタ処理されたドキュメントの総数に関連しています。
Documents Filtered Rate	両方	M	1 秒あたりにフィルタ処理されるドキュメントの総数。
Documents Successfully Filtered	両方	F	正常にフィルタ処理されたドキュメントの総数。
Documents Successfully Filtered Rate	両方	R	1 秒あたりに正常にフィルタ処理されたドキュメントの総数。
Ext. Notifications Rate	2007	F	1 秒あたりの外部通知の受信率。
Ext. Notifications Received	2007	F	ファイルシステムを除くすべての通知ソースから受信した通知の総数。
Filter Objects	両方	F	システム内のフィルタ オブジェクトの総数。各フィルタ オブジェクトは、現在フィルタ処理中の URL に関連しています。
Filter Processes Created	両方	M	フィルタ プロセスが作成または再開された合計回数。フィルタ プロセスの数が多すぎる場合は、ドキュメント内のデータのフィルタ処理に問題があることを示します。
Filter Processes	2007	F	システム内のフィルタ プロセスの総数。
Filter Processes Max	2007	F	システムの起動後にシステムに存在するフィルタ プロセスの最大数。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessing Robots.Txt File	両方	R	robots.txt に対する現在の要求の総数。すべてのシステムでは、HTTP を介して、すべてのホストに robots.txt が暗黙的に要求されます。
Filtering Threads	両方	M	システム内のフィルタ スレッドの総数。この数はシステム リソースを元に計算されます。
Heartbeats	両方	F	起動後にカウントされたハートビートの総数。ハートビートは、サービスの実行中に、10 秒ごとに 1 回発生します。サービスが実行されていない場合は、ハートビートは存在せず、チックの数は増えません。
Heartbeats Rate	両方	R	10 秒ごとに 1 回のハートビートを表示。
Idle Threads	両方	R	ドキュメントを待機中のスレッドの総数。
Notification Sources	2007	F	現在接続されている外部通知ソース。
Notifications Rate	2007	R	1 秒あたりの外部通知の受信率。
Performance Level	両方	M	Gatherer サービスが利用できるシステム リソースの量のレベルを示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessing Robots.Txt File	両方	R	robots.txt に対する現在の要求の総数。すべてのシステムでは、HTTP を介して、すべてのホストに robots.txt が暗黙的に要求されます。
Reason to back off	2007	R	<p>Gatherer サービスがバック オフ状態となった理由を示すコード。</p> <p>0 - 正常に作動中</p> <p>1 - システム IO のトラフィックが高い</p> <p>2 - 通知率が高い</p> <p>3 - 遅延修復が進行中 (実装されていません)</p> <p>4 - ユーザ アクティビティが原因</p> <p>5 - バッテリーの低下</p> <p>6 - メモリ不足</p> <p>99 - 内部の理由 (検索自体が原因)</p> <p>バック オフ状態になると、インデックス作成は停止します。インデックス作成を続行するには、バック オフ状態になった原因を排除してください。Gatherer サービスがバック オフ状態になると、検索サービスは一時停止され、イベントログにメッセージが表示されます。</p>
Robots.Txt Requests	両方	F	robots.txt に対する要求の総数。
Server Objects	両方	F	システムが最近アクセスしたサーバの総数。
Server Objects Created	両方	F	サーバオブジェクトが作成された合計回数。
Servers Currently Unavailable	両方	M	要求がタイムアウトになったため利用不可のサーバ数。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessing Robots.Txt File	両方	R	robots.txt に対する現在の要求の総数。すべてのシステムでは、HTTP を介して、すべてのホストに robots.txt が暗黙的に要求されます。
Servers Unavailable	両方	R	要求がタイムアウトになったため利用不可のサーバ数。
Stemmers Cached	両方	R	使用可能なキャッシュ済みステマインスタンスの総数。インスタンス数が多すぎる場合は、リソース使用率に問題がある可能性があります。
System IO traffic rate	両方	F	バック オフ ロジックにより検出された、システム IO (ディスク) のトラフィック レート (KB/秒)。
Threads Accessing Network	両方	M	フィルタ プロセスからの応答を待機しているスレッドの総数。アクティビティが発生せず、この数がフィルタ スレッドの数に等しい場合は、以下の状況を示します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ ネットワークの問題 ■ クロールしているサーバの使用不可。
Threads blocked due to back off	2007	M	バック オフ イベントによりブロックされたスレッドの総数。
Threads In Plug-ins	両方	R	プラグインの処理が完了するのを待機しているスレッドの総数。
Time Outs	両方	M	システムの起動後にシステムによって検出されたタイムアウトの総数。
Word Breakers Cached	両方	R	使用可能なキャッシュ済みワードブレーカ インスタンスの総数。
Changes Processed	2010	F	処理されたメトリックを変更します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessing Robots.Txt File	両方	R	robots.txt に対する現在の要求の総数。すべてのシステムでは、HTTP を介して、すべてのホストに robots.txt が暗黙的に要求されます。
DocProcessTime 01 Loading	2010	F	DocProcessTime 01 Loading メトリック。
DocProcessTime 02 Delayed	2010	F	DocProcessTime 02 Delayed メトリック。
DocProcessTime 03 Connect	2010	F	DocProcessTime 03 Connect メトリック。
DocProcessTime 04 StandardProperties	2010	F	DocProcessTime 04 StandardProperties メトリック。
DocProcessTime 05 Filtering	2010	F	DocProcessTime 05 Filtering メトリック。
DocProcessTime 06 SyncCompletion	2010	F	DocProcessTime 06 SyncCompletion メトリック。
DocProcessTime 07 PropertyStore	2010	F	DocProcessTime 07 PropertyStore メトリック。
DocProcessTime 08 Merge	2010	F	DocProcessTime 08 Merge メトリック。
DocProcessTime 09 Propagation	2010	F	DocProcessTime 09 Propagation メトリック。
DocProcessTime 10 FinalCommit	2010	F	DocProcessTime 10 FinalCommit メトリック。
Filter Processes Active	2010	R	Filter Processes Active メトリック。
Filter Processes Active Dedicated	2010	F	Filter Processes Active Dedicated メトリック。
Filter Processes Active Dedicated Secondary	2010	F	Filter Processes Active Dedicated Secondary メトリック。
Filter Processes Active Primary	2010	F	Filter Processes Active Primary メトリック。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessing Robots.Txt File	両方	R	robots.txt に対する現在の要求の総数。すべてのシステムでは、HTTP を介して、すべてのホストに robots.txt が暗黙的に要求されます。
Filter Processes Active Secondary	2010	F	Filter Processes Active Secondary メトリック。
Filter Processes Created Dedicated	2010	F	Filter Processes Created Dedicated メトリック。
Filter Processes Created Dedicated Secondary	2010	F	Filter Processes Created Dedicated Secondary メトリック。
Filter Processes Created Primary	2010	F	Filter Processes Created Primary メトリック。
Filter Processes Created Secondary	2010	F	Filter Processes Created Secondary メトリック。
Filter Processes Terminated 01	2010	F	Filter Processes Terminated 01 メトリック。
Filter Processes Terminated 02	2010	F	Filter Processes Terminated 02 メトリック。
Filter Processes Terminated Dedicated 01	2010	F	Filter Processes Terminated Dedicated 01 メトリック。
Filter Processes Terminated Dedicated 02	2010	F	Filter Processes Terminated Dedicated 02 メトリック。
Filter Processes Terminated Dedicated Secondary 01	2010	F	Filter Processes Terminated Dedicated Secondary 01 メトリック。
Filter Processes Terminated Dedicated Secondary 02	2010	F	Filter Processes Terminated Dedicated Secondary 02 メトリック。
Filter Processes Terminated Primary 01	2010	F	Filter Processes Terminated Primary 01 メトリック。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessing Robots.Txt File	両方	R	robots.txt に対する現在の要求の総数。すべてのシステムでは、HTTP を介して、すべてのホストに robots.txt が暗黙的に要求されます。
Filter Processes Terminated Primary 02	2010	F	Filter Processes Terminated Primary 02 メトリック。
Filter Processes Terminated Secondary 01	2010	F	Filter Processes Terminated Secondary 01 メトリック。
Filter Processes Terminated Secondary 02	2010	F	Filter Processes Terminated Secondary 02 メトリック。
Threads Committing Transactions	2010	R	Threads Committing Transactions メトリック。
Threads Loading Transactions	2010	R	Threads Loading Transactions メトリック。
Threads Processing Links	2010	F	Threads Processing Links メトリック。
ThreadTime 01 NotActive	2010	F	ThreadTime 01 NotActive メトリック。
ThreadTime 02 FilterDriverInit	2010	F	ThreadTime 02 FilterDriverInit メトリック。
ThreadTime 03 Connect	2010	F	ThreadTime 03 Connect メトリック。
ThreadTime 04 GetStandardProperties	2010	F	ThreadTime 04 GetStandardProperties メトリック。
ThreadTime 05 PHData	2010	F	ThreadTime 05 PHData メトリック。
ThreadTime 06 IFilterData	2010	F	ThreadTime 06 IFilterData メトリック。
ThreadTime 07 WordBreaking	2010	F	ThreadTime 07 WordBreaking メトリック。
ThreadTime 08 IndexerPlugin	2010	F	ThreadTime 08 IndexerPlugin メトリック。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Accessing Robots.Txt File	両方	R	robots.txt に対する現在の要求の総数。すべてのシステムでは、HTTP を介して、すべてのホストに robots.txt が暗黙的に要求されます。
ThreadTime 09 ArchivalPlugin	2010	F	ThreadTime 09 ArchivalPlugin メトリック。
ThreadTime 10 FeatureExtractionPlugin	2010	F	ThreadTime 10 FeatureExtractionPlugin メトリック。
ThreadTime 11 MatrixPlugin	2010	F	ThreadTime 11 MatrixPlugin メトリック。
ThreadTime 12 ScopesPlugin	2010	F	ThreadTime 12 ScopesPlugin メトリック。
ThreadTime 13 RankingPlugin	2010	F	ThreadTime 13 RankingPlugin メトリック。
ThreadTime 14 GathererPlugin	2010	F	ThreadTime 14 GathererPlugin メトリック。
ThreadTime 15 OtherPlugins	2010	F	ThreadTime 15 OtherPlugins メトリック。
ThreadTime 16 CatchAllProcessing	2010	F	ThreadTime 16 CatchAllProcessing メトリック。

Office Server Search Indexer Catalogs/OSS Search Indexer Plugin

以下の表に、Office Server Search Indexer Catalogs のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Active Connections	両方	R	アクティブな接続。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Documents Filtered	両方	F	フィルタ処理されたドキュメントの総数。
Index Size	両方	F	インデックスのサイズ。
L0 Indexes (Wordlists)	両方	F	L0 インデックス (ワードリスト) の総数。
L0 Merge (Flush) - Count	両方	F	カタログが読み込まれてから実行された L0 結合 (フラッシュ) の総数。
L0 Merge (Flush) Speed - Average	両方	M	カタログが読み込まれてから実行された L0 結合 (フラッシュ) の平均速度 (ドキュメント/時間)。
L0 Merge (Flush) Speed - Last	両方	F	最新の L0 結合 (フラッシュ) の速度 (ドキュメント/時間)。
L0 Merges (flushes) Now	両方	F	現在進行中の L0 結合 (フラッシュ) の総数。
L1 Merge - Count	両方	F	最新の L1 結合の速度 (ドキュメント/時間)。
L1 Merge Speed - Average	両方	M	カタログが読み込まれてから実行された L1 結合の平均速度 (ドキュメント/時間)。
L1 Merge Speed - Last	両方	F	最新の L1 結合の速度 (ドキュメント/時間)。
L1 Merges Now	両方	F	現在進行中の L1 結合の総数。
L2 Merge - Count	両方	F	カタログが読み込まれてから実行された L2 結合の総数。
L2 Merge Speed - Average	両方	M	カタログが読み込まれてから実行された L2 結合の平均速度 (ドキュメント/時間)。
L2 Merge Speed - Last	両方	F	最新の L2 結合の速度 (ドキュメント/時間)。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
L2 Merges Now	両方	F	現在進行中の L2 結合の総数。
L3 Merge - Count	両方	F	カタログが読み込まれてから実行された L3 結合の総数。
L3 Merge Speed - Average	両方	M	カタログが読み込まれてから実行された L3 結合の平均速度（ドキュメント/時間）。
L3 Merge Speed - Last	両方	F	最新の L3 結合の速度（ドキュメント/時間）。
L3 Merges Now	両方	F	現在進行中の L3 結合の総数。
L4 Merge - Count	両方	F	カタログが読み込まれてから実行された L4 結合の総数。
L4 Merge Speed - Average	両方	M	カタログが読み込まれてから実行された L4 結合の平均速度（ドキュメント/時間）。
L4 Merge Speed - Last	両方	F	最新の L4 結合の速度（ドキュメント/時間）。
L4 Merges Now	両方	F	現在進行中の L4 結合の総数。
L5 Merge - Count	2007	F	カタログが読み込まれてから実行された L5 結合の総数。
L5 Merge Speed - Average	2007	M	カタログが読み込まれてから実行された L5 結合の平均速度（ドキュメント/時間）。
L5 Merge Speed - Last	2007	F	最新の L5 結合の速度（ドキュメント/時間）。
L5 Merges Now	2007	F	現在進行中の L5 結合の総数。
L6 Merge - Count	2007	F	カタログが読み込まれてから実行された L6 結合の総数。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
L6 Merge Speed - Average	2007	M	カタログが読み込まれてから実行された L6 結合の平均速度（ドキュメント/時間）。
L6 Merge Speed - Last	2007	F	最新の L6 結合の速度（ドキュメント/時間）。
L6 Merges Now	2007	F	現在進行中の L6 結合の総数。
L7 Merge - Count	2007	F	カタログが読み込まれてから実行された L7 結合の総数。
L7 Merge Speed - Average	2007	M	カタログが読み込まれてから実行された L7 結合の平均速度（ドキュメント/時間）。
L7 Merge Speed - Last	2007	F	最新の L7 結合の速度（ドキュメント/時間）。
L7 Merges Now	2007	F	現在進行中の L7 結合の総数。
L8 Merge - Count	2007	F	カタログが読み込まれてから実行された L8 結合の総数。
L8 Merge Speed - Average	2007	M	カタログが読み込まれてから実行された L8 結合の平均速度（ドキュメント/時間）。
L8 Merge Speed - Last	2007	F	最新の L8 結合の速度（ドキュメント/時間）。
L8 Merges Now	2007	F	L8 結合の総数。
Master Index Level	両方	F	マスタ インデックスのレベル。
Master Merge Progress	両方	F	マスタ結合の進捗状況。
Master Merges Now	両方	F	マスタ結合が進行中かどうかを示します。
Master Merges to Date	両方	F	現在までのマスタ結合の総数。
Out-Of-Date Document ID Files	両方	R	未処理の作業項目があるドキュメント ID ファイルの総数。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Persistent Indexes	両方	F	永続的なインデックスの総数。
Persistent Indexes L1	両方	F	L1 インデックスの総数。
Persistent Indexes L2	両方	F	L2 インデックスの総数。
Persistent Indexes L3	両方	F	L3 インデックスの総数。
Persistent Indexes L4	両方	F	L4 インデックスの総数。
Persistent Indexes L5	2007	F	L5 インデックスの総数。
Persistent Indexes L6	2007	F	L6 インデックスの総数。
Persistent Indexes L7	2007	F	L7 インデックスの総数。
Persistent Indexes L8	2007	F	L8 インデックスの総数。
Queries	両方	M	クエリの総数。
Queries Failed	両方	M	失敗したクエリの総数。
Queries Succeeded	両方	F	成功したクエリの総数。
Shadow Merge Levels	両方	F	シャドウ結合レベル。
Shadow Merge Levels Threshold	両方	M	シャドウ結合レベルのしきい値。
Unique Keys	両方	F	一意キーの総数。
Up-To-Date Document ID Files	両方	F	未処理の作業項目がないドキュメント ID ファイルの総数。
Work Items Created	両方	F	インデックスの更新に対して作成された作業項目の総数。
Work Items Deleted	両方	F	インデックスの更新に対して完了した作業項目の総数。
Average CPU Time Create	2010	F	Average CPU Time Create メトリック。
Average CPU Time Create Unsorted Cursor	2010	F	Average CPU Time Create Unsorted Cursor メトリック。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Average CPU Time GetRows	2010	R	Average CPU Time GetRows メトリック。
Average CPU Time Other	2010	F	Average CPU Time Other メトリック。
Average CPU Time Rank Stage 1 With Precalc	2010	F	Average CPU Time Rank Stage 1 With Precalc メトリック。
Average CPU Time Rank Stage 1 Without Precalc	2010	F	Average CPU Time Rank Stage 1 Without Precalc メトリック。
Average CPU Time Rank Stage 2	2010	F	Average CPU Time Rank Stage 2 メトリック。
Average CPU Time Resolve	2010	R	Average CPU Time Resolve メトリック。
Average Exec Time Create	2010	F	Average Exec Time Create メトリック。
Average Exec Time Create Unsorted Cursor	2010	F	Average Exec Time Create Unsorted Cursor メトリック。
Average Exec Time GetRows	2010	R	Average Exec Time GetRows
Average Exec Time Other	2010	F	Average Exec Time Other
Average Exec Time Rank Stage 1 With Precalc	2010	F	Average Exec Time Rank Stage 1 With Precalc
Average Exec Time Rank Stage 1 Without Precalc	2010	F	Average Exec Time Rank Stage 1 Without Precalc
Average Exec Time Rank Stage 2	2010	F	Average Exec Time Rank Stage 2
Average Exec Time Resolve	2010	R	Average Exec Time Resolve
Average Query Latency	2010	M	Average Query Latency
Documents in Propagation	2010	F	Documents in Propagation

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Indexes - Errors In Propagation	2010	M	Indexes - Errors In Propagation
Indexes - Errors In Reception	2010	M	Indexes - Errors In Reception
Indexes - Propagated Successfully	2010	F	Indexes - Propagated Successfully メトリック。
Indexes - Received Successfully	2010	F	Indexes - Received Successfully メトリック。
Persistent Indexes Propagated	2010	F	Persistent Indexes Propagated メトリック。
Propagation Rate	2010	M	Propagation Rate メトリック。
Scope Compilations - Propagation Task Receiver	2010	F	Scope Compilations - Propagation Task Receiver メトリック。
Scope Compilations - Propagation Task Sender	2010	F	Scope Compilations - Propagation Task Sender メトリック。
Tasks - Index Propagator	2010	F	Tasks - Index Propagator メトリック。
Tasks - Index Receiver	2010	F	Tasks - Index Receiver メトリック。
Tasks - Propagation Task Sender	2010	F	Tasks - Propagation Task Sender メトリック。

Office Server Search Schema Plugin/OSS Search Schema Plugin

以下の表に、Office Server Search Schema Plugin のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Aliases loaded	両方	F	現在読み込まれているエイリアスの総数。
Aliases Mapped	両方	F	すでにマップされたエイリアスの総数。
Duplicate aliases	両方	F	重複が原因で無視されたエイリアスの総数。
Refresh count	両方	F	データベースから実行されたエイリアスリフレッシュの総数。
Total Documents	両方	R	処理されたドキュメントの総数。
Total properties processed	両方	F	プラグインが処理したプロパティの総数。

OSS Secure Store Credentials

以下の表に、Office Server Secure Store Credentials のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Credentials retrieved per second	2010	M	Credentials retrieved per second メトリック。
Credentials set per second	2010	M	Credentials set per second メトリック。

OSS Secure Store Tickets

以下の表に、Office Server Secure Store Tickets のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Tickets redeemed per second	2010	M	Tickets redeemed per second メトリック。
Tickets issued per second	2010	M	Tickets issued per second メトリック。

Excel Calculation Services

以下の表に、Excel Calculation Services のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Active Requests	両方	R	サンプリングの時点で Excel Calculation Services で処理されているアクティブな要求の総数。
Active Sessions	両方	F	サンプリングの時点での Excel Calculation Services のアクティブセッションの総数。
Average Request Processing Time	両方	M	サンプリング中に Excel Calculation Services で要求の処理に要する平均時間。
Average Session Time	両方	R	最新の 2 つのサンプルから算出された平均セッション時間 (秒単位)。
Cached Charts Requested/sec	両方	F	キャッシュされたイメージから作成されるグラフの総数。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Active Requests	両方	R	サンプリングの時点で Excel Calculation Services で処理されているアクティブな要求の総数。
Current Size of Memory Cache	両方	F	未使用のアイテム マネージャの全体サイズ (バイト単位)。
Excel Calculation Services Workbook Cache Size	両方	F	Excel Calculation Services ブックのキャッシュの全体サイズ (バイト単位)。
Rendered Charts Requested/sec	両方	R	1 秒あたりのグラフ要求の総数。
Requests Received Per Second	両方	M	サンプリング中の Excel Calculation Services での 1 秒あたりの要求の総数。
Requests With Errors Per Second	両方	M	サンプリング中の Excel Calculation Services での 1 秒あたりのエラーのある要求の総数。
Sessions Per Second	両方	M	最新の 2 つのサンプルから算出された 1 秒あたりの開始セッションの平均数。
Edit Requests Received Per Second	2010	R	Edit Requests Received Per Second メトリック。
Health Score	2010	M	Health Score メトリック。
Active Edit Mode Sessions	2010	F	Active Edit Mode Sessions メトリック。

Excel Services Web フロント エンド/Excel Services アプリケーション Web フロント エンド

以下の表に、Excel Services Web フロントエンドのメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Active Requests	両方	F	サンプリングの時点で処理されているアクティブな要求の総数。
Average Request Processing Time	両方	M	サンプリング期間中に要求の処理に要する平均時間。
Requests per second	両方	R	サンプリングの時点での 1 秒あたりの要求の総数。
Active REST Sessions	2010	F	Active REST Sessions メトリック。
Average REST Session Duration	2010	M	Average REST Session Duration メトリック。
Pending REST Requests	2010	R	Pending REST Requests メトリック。

Excel Web Access/Excel Services アプリケーション ブラウザ

以下の表に、Excel Web Access のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Average Chart Image Request Time	両方	M	1 秒あたりに Excel Web Access が処理するグラフ イメージの要求の総数。

Chart Image Requests per Second	両方	R	Excel Web Access の最新の 2 つのサンプルから算出された平均要求時間。
Excel Web Access Request Time	2007	F	Excel Web Access に必要な要求時間。
AJAX Requests Received Per Second	2010	R	AJAX Requests Received Per Second メトリック。
Average grid content request time	2010	R	Average grid content request time メトリック。
Average workbook deserialize time	2010	F	Average workbook deserialize time メトリック。
Request Time	2010	F	Request Time メトリック。

Microsoft シングル サインオン

以下の表に、シングルサインオンのメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Current Requests	2007	R	Microsoft シングル サインオン サービスが現在処理している要求の総数。
Denied Requests	2007	M	Microsoft シングル サインオン サービスが拒否した要求の総数。
Failed Credential Commits	2007	M	Microsoft シングル サインオン サービスがクレデンシャルをコミットしようとする間に直面した失敗の総数。
Failed Credential Retrievals	2007	R	Microsoft シングル サインオン サービスがクレデンシャルを取得しようとする間に直面した失敗の総数。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Current Requests	2007	R	Microsoft シングル サインオン サービスが現在処理している要求の総数。
Failed Requests	2007	M	Microsoft シングル サインオン サービスが修正した失敗した要求の総数。
Granted Requests	2007	F	Microsoft シングル サインオン サービスが付与した要求の総数。
Successful Credential Commits	2007	F	Microsoft シングル サインオン サービスによる成功したクレデンシャルコミットの総数。
Successful Credential Retrievals	2007	F	Microsoft シングル サインオン サービスによる成功したクレデンシャル取得の総数。
Successful Requests	2007	F	Microsoft シングル サインオン サービスが修正した成功した要求の総数。
Total Requests	2007	F	サービスの開始以降 Microsoft シングル サインオン サービスが修正した要求の総数。

InfoPath Forms Services/InfoPath Forms Services 14

以下の表に、InfoPath Forms Services のメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
# Business Logic Assemblies in Memory	両方	F	現在メモリにロードされているビジネス ロジック アセンブリの総数。管理者が承認するフォーム テンプレートには 0、1 またはそれ以上のマネージコードアセンブリを含めることができます。
# of Cached Form Templates	両方	F	現在メモリに読み込まれているフォーム テンプレート オブジェクトの総数。
# of Form Templates in Memory	両方	R	現在メモリに読み込まれているフォームの総数。
# of Forms in Memory	両方	R	ASP.NET オブジェクト キャッシュに追加され、まだ有効期限が切れていないフォーム テンプレートの総数。
Avg. Data Adapter Query Duration	両方	M	フォーム入力セッションで、データ接続のクエリを実行するのに必要な平均時間。
Avg. Data Adapter Query Duration Base	2007	R	データ接続の平均クエリ処理時間の基準。
Avg. Data Connection Submit Duration	両方	M	フォーム入力セッションで、データ接続の送信を実行するのに必要な平均時間。
Avg. Data Connection Submit Duration Base	2007	R	データ接続の平均送信時間の基準。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
# Business Logic Assemblies in Memory	両方	F	現在メモリにロードされているビジネス ロジック アセンブリの総数。管理者が承認するフォーム テンプレートには 0、1 またはそれ以上のマネージコード アセンブリを含めることができます。
Avg. Session Duration	両方	M	セッションのすべてのトランザクションで集計された、フォーム入力セッションを実行するのに必要な平均時間。
Avg. Session Duration Base	2007	R	フォーム入力セッションを完了するのにかかる平均時間。
Avg. Transaction Duration	両方	M	フォーム入力セッションで、トランザクションを完了するのにかかる平均時間。
Avg. Transaction Duration Base	2007	R	フォーム入力セッションで、データ接続のクエリが失敗する割合。
Data Connection Query Completed Rate	両方	F	フォーム入力セッションで、データ接続のクエリが実行される割合。
Data Connection Query Failure Rate	両方	M	フォーム入力セッションで、データ接続のクエリが失敗する割合。
Data Connection Query Started Rate	両方	F	フォーム入力セッションで、データ接続のクエリが開始される割合。
Data Connection Submit Completed Rate	両方	F	フォーム入力セッションで、データ接続の送信が実行/完了される割合。
Data Connection Submit Failure Rate	両方	M	フォーム入力セッションで、データ接続の送信が失敗する割合。
Data Connection Submit Started Rate	両方	F	フォーム入力セッションで、データ接続の送信が開始される割合。
Session Completed Rate	両方	F	フォーム入力セッションが完了する割合。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
# Business Logic Assemblies in Memory	両方	F	現在メモリにロードされているビジネス ロジック アセンブリの総数。管理者が承認するフォーム テンプレートには 0、1 またはそれ以上のマネージコード アセンブリを含めることができます。
Session Started Rate	両方	F	フォーム入力セッションが開始される割合。
Transactions Completed Rate	両方	F	フォーム入力セッションでトランザクションが完了する割合。
Transactions Started Rate	両方	F	フォーム入力セッションでトランザクションが開始される割合。

Web サービス

以下の表に、Web サービスのメトリック名、監視レベル、および説明を示します。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Bytes Received/sec	両方	M	Web サービスがデータ バイトを受信する割合。
Bytes Sent/sec	両方	M	Web サービスがデータ バイトを送信する割合。
Bytes Total/sec	両方	R	Bytes Received/sec と Bytes Sent/sec の合計で、Web サービスにより転送されたバイト数の割合。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
CGI Requests/sec	両方	M	Web サービスが CGI 要求を受信する割合。
Connection Attempts/sec	両方	M	Web サービスへの接続を試行する割合。
Copy Requests/sec	両方	F	COPY メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。Copy 要求はファイルおよびディレクトリのコピーに使用されます。
Current Anonymous Users	両方	F	Web サービスに現在匿名接続を行っているユーザの総数。
Current blocked bandwidth bytes	両方	R	帯域幅スロットリング設定によって一時的にブロックされた現在のバイト数。
Current CGI Requests	両方	R	Web サービスが同時に処理する現在の CGI 要求の数。
Current Connections	両方	R	Web サービスにより現在確立されている接続の数。
Current ISAPI Extension Requests	両方	R	Web サービスが同時に処理する現在の ISAPI 要求の数。
Current NonAnonymous Users	両方	F	Web サービスにより現在非匿名接続を行っているユーザの総数。
Delete Requests/sec	両方	F	DELETE メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。Delete 要求は、通常、ファイルを削除するために使用されます。
Files Received/sec	両方	R	Web サービスがファイルを受信する割合。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Files Sent/sec	両方	R	Web サービスがファイルを送信する割合。
Files/sec	両方	F	Web サービスがファイルを転送する割合で、Web サービスによるファイル送信とファイル受信の合計。
Get Requests/sec	両方	R	GET メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。Get 要求は最も一般的な HTTP 要求です。
Head Requests/sec	両方	F	HEAD メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。クライアントでは、通常、Head 要求を使用して既存のドキュメントのステータスを問い合わせ、リフレッシュする必要があるかどうかを確認します。
ISAPI Extension Requests/sec	両方	M	Web サービスが ISAPI Extension 要求を受信する割合。
Lock Requests/sec	両方	F	LOCK メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。通常、Lock 要求は、1 人のユーザのためにファイルをロックし、そのユーザのみがファイルを修正できるようにするために使用されます。
Logon Attempts/sec	両方	M	Web サービスへのログオンを試行する割合。
Locked Errors/sec	両方	M	要求されたドキュメントがロックされていたため、サーバが完了できなかった要求によるエラーの割合。これらは通常、HTTP エラー コード 423 としてクライアントに報告されます。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Maximum Anonymous Users	両方	R	Web サービスを利用して同時に匿名接続を確立したユーザの最大数 (サービス起動以降)。
Maximum CGI Requests	両方	F	Web サービスが同時に処理する CGI 要求の最大数 (サービス起動以降)。
Maximum Connections	両方	R	Web サービスが確立した同時接続の最大数 (サービス起動以降)。
Maximum ISAPI Extension Requests	両方	F	Web サービスが同時に処理する ISAPI 要求の最大数 (サービス起動以降)。
Maximum NonAnonymous Users	両方	R	Web サービスへの同時非匿名接続の最大数 (サービス起動以降)。
Measured Async I/O Bandwidth Usage	両方	F	平均 1 分で計られた非同期 I/O の帯域幅。
Mkcol Requests/sec	両方	F	MKCOL メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。Mkcol 要求はサーバ上にディレクトリを作成するために使用されます。
Move Requests/sec	両方	F	MOVE メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。Move 要求はファイルおよびディレクトリを移動させるために使用されます。
NonAnonymous Users/sec	両方	M	ユーザが非匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Not Found Errors/sec	両方	M	要求されたドキュメントが見つからないため発生したエラーの割合。通常、HTTP エラーコード 404 としてクライアントに報告されます。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Options Requests/sec	両方	F	OPTIONS メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。
Other Request Methods/sec	両方	F	HTTP 要求が行われる割合。これらの要求では、OPTIONS、GET、HEAD、POST、PUT、DELETE、TRACE、MOVE、COPY、MKCOL、PROPFIND、PROPPATCH、SEARCH、LOCK、または UNLOCK メソッドを使用しません。
Post Requests/sec	両方	R	POST メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。
Propfind Requests/sec	両方	F	PROPFIND メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。Propfind 要求は、ファイルおよびディレクトリのプロパティの値を取得するために使用されます。
Proppatch Requests/sec	両方	F	PROPPATCH メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。Proppatch 要求は、ファイルおよびディレクトリのプロパティの値を設定するために使用されます。
Put Requests/sec	両方	F	PUT メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。
Search Requests/sec	両方	M	SEARCH メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。Search 要求は、クライアントが指定した一連の条件に一致するリソースを検索するようにサーバに問い合わせます。
Service Uptime	両方	R	Web サービスが実行されている期間。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Total Allowed Async I/O Requests	両方	R	帯域幅スロットリング設定によって拒否された要求の総数（サービス起動以降）。
Total Anonymous Users	両方	F	Web サービスにより匿名接続を確立したユーザの総数（サービス起動以降）。
Total Blocked Async I/O Requests	両方	F	帯域幅スロットリング設定によってブロックされた要求の総数（サービス起動以降）。
Total blocked bandwidth bytes	両方	F	帯域幅スロットリング設定によってブロックされたバイト数の合計（サービス起動以降）。
Total Bytes Received	両方	F	Web サービスが受信したデータバイト数の合計（サービス起動以降）。
Total Bytes Sent	両方	F	Web サービスが送信したデータバイト数の合計（サービス起動以降）。
Total Bytes Transferred	両方	F	Web サービスが転送したデータバイト数の合計。送受信したバイト数の合計です（サービス起動以降）。
Total CGI Requests	両方	F	CGI 要求の総数（サービス起動以降）。
Total Connection Attempts (all instances)	両方	F	Web サービスを利用して試行された接続の総数（サービス起動以降）。このカウンタはリストされているすべてのインスタンスを対象としています。
Total Copy Requests	両方	F	COPY メソッドを使用した HTTP 要求の総数（サービス起動以降）。Copy 要求はファイルおよびディレクトリのコピーに使用されます。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Total count of failed CAL requests for SSL connections	両方	M	帯域幅スロットリング設定によって一時的にブロックされた要求の総数（サービス起動以降）。
Total Delete Requests	両方	F	DELETE メソッドを使用した HTTP 要求の総数（サービス起動以降）。Delete 要求は、通常、ファイルを削除するために使用されます。
Total Files Received	両方	F	Web サービスが受信したファイルの総数（サービス起動以降）。
Total Files Sent	両方	F	Web サービスが送信したファイルの総数（サービス起動以降）。
Total Files Transferred	両方	F	Total Files Sent と Total Files Received の合計（サービス起動以降）。
Total Get Requests	両方	F	GET メソッドを使用した HTTP 要求の総数（サービス起動以降）。Get 要求は最も一般的な HTTP 要求です。
Total Head Requests	両方	F	HEAD メソッドを使用した HTTP 要求の総数（サービス起動以降）。クライアントでは、通常、Head 要求を使用して既存のドキュメントのステータスを問い合わせ、リフレッシュする必要があるかどうかを確認します。
Total ISAPI Extension Requests	両方	F	受信した ISAPI Extension 要求の総数（サービス起動以降）。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Total Lock Requests	両方	F	LOCK メソッドを使用した HTTP 要求の総数 (サービス起動以降)。Lock 要求は、1 人のユーザのためにファイルをロックし、そのユーザのみがファイルを修正できるようにするために使用されます。
Total Locked Errors	両方	M	要求がロックされていたため、サーバが応じられなかった要求の総数 (サービス起動以降)。このようなインスタンスは通常、HTTP エラーコード 423 としてクライアントに報告されます。
Total Logon Attempts	両方	F	Web サービスへのログオン試行の総数 (サービス起動以降)。
Total Method Requests	両方	F	すべての HTTP 要求の総数 (サービス起動以降)。
Total Method Requests/sec	両方	M	HTTP 要求が受信される割合。
Total Mkdir Requests	両方	F	MKCOL メソッドを使用した HTTP 要求の総数 (サービス起動以降)。Mkdir 要求はサーバ上にディレクトリを作成するために使用されます。
Total Move Requests	両方	F	MOVE メソッドを使用した HTTP 要求の総数 (サービス起動以降)。Move 要求はファイルおよびディレクトリを移動させるために使用されます。
Total NonAnonymous Users	両方	F	Web サービスにより非匿名接続を確立したユーザの総数 (サービス起動以降)。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Total Not Found Errors	両方	M	要求されたドキュメントが見つからなかったため、サーバが完了できなかった要求の総数（サービス起動以降）。このようなインスタンスは通常、HTTP エラーコード 404 としてクライアントに報告されます。
Total Options Requests	両方	F	OPTIONS メソッドを使用した HTTP 要求の総数（サービス起動以降）。
Total Other Request Methods	両方	F	HTTP 要求の総数。この要求は、OPTIONS、GET、HEAD、POST、PUT、DELETE、TRACE、MOVE、COPY、MKCOL、PROPFIND、PROPPATCH、SEARCH、LOCK、または UNLOCK メソッドではありません（サービス起動以降）。
Total Post Requests	両方	F	POST メソッドを使用した HTTP 要求の総数（サービス起動以降）。
Total Propfind Requests	両方	F	PROPFIND メソッドを使用した HTTP 要求の総数（サービス起動以降）。Propfind 要求は、ファイルおよびディレクトリのプロパティの値を取得するために使用されます。
Total Proppatch Requests	両方	F	PROPPATCH メソッドを使用した HTTP 要求の総数（サービス起動以降）。Proppatch 要求は、ファイルおよびディレクトリのプロパティの値を設定します。
Total Put Requests	両方	F	PUT メソッドを使用した HTTP 要求の総数（サービス起動以降）。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Total Rejected Async I/O Requests	両方	M	帯域幅スロットリング設定によって一時的にブロックされた現在の要求の数。
Total Search Requests	両方	R	SEARCH メソッドを使用した HTTP 要求の総数 (サービス起動以降)。Search 要求は、クライアントが指定した一連の条件に一致するリソースを検索するようにサーバに問い合わせます。
Total Trace Requests	両方	F	TRACE メソッドを使用した HTTP 要求の総数 (サービス起動以降)。Trace 要求により、クライアントは、一連の要求の最後に受信した情報を確認し、診断目的でその情報を使用することができます。
Total Unlock Requests	両方	F	UNLOCK メソッドを使用した HTTP 要求の総数 (サービス起動以降)。Unlock 要求は、ファイルからロックを解除するのに役立ちます。
Trace Requests/sec	両方	F	TRACE メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。Trace 要求により、クライアントは、一連の要求の最後に受信した情報を確認し、診断目的でその情報を使用することができます。
Unlock Requests/sec	両方	F	UNLOCK メソッドを使用して HTTP 要求が行われる割合。Unlock 要求は、ファイルからロックを解除するのに使用されます。
Current Blocked Async I/O Requests	2010	M	Current Blocked Async I/O Requests メトリック。

メトリック名	サポートされている SharePoint のバージョン	監視レベル	説明
Anonymous Users/sec	両方	M	ユーザが匿名で Web サービスに接続を行う割合。
Current CAL count for authenticated users	2010	R	Current CAL count for authenticated users メトリック。
Current CAL count for SSL connections	2010	R	Current CAL count for SSL connections メトリック。
Maximum CAL count for authenticated users	2010	F	Maximum CAL count for authenticated users メトリック。
Maximum CAL count for SSL connections	2010	F	Maximum CAL count for SSL connections メトリック。
Total count of failed CAL requests for authenticated users	2010	R	Total count of failed CAL requests for authenticated users メトリック。

付録 B: 監視対象イベント

この付録では、CA APM for Microsoft SharePoint が監視する SharePoint Portal イベント リソースのリストを示します。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[拡張機能により監視される SharePoint イベント \(P. 107\)](#)

拡張機能により監視される SharePoint イベント

拡張機能では、以下の SharePoint イベント リソースを監視します。

- ASP.NET <バージョン>
- .NET Runtime
- .NET Runtime Optimization Service
- ASP.NET 2.0.50727.0
- ヘルス サービス モジュール
- IISCTLS
- Microsoft Operations Manager (SPSearch)
- Microsoft Operations Manager (SPTimer)
- Microsoft Operations Manager (SPTracer)
- Microsoft.Office.HtmlTrans.Launcher
- Microsoft.Office.HtmlTrans.LoadBalancer
- Office Document Transforms Launcher Service
- Office Server Search
- Office SharePoint Server
- Office SharePoint Server Search
- Office SharePoint Server Search マスタ マージ エラー
- 共有サービス
- SharePoint Portal Server 2003 Alert Notification Service

- Windows SharePoint Services 3
- Windows SharePoint Services 3 Search
- Windows SharePoint Services 3.0
- Windows SharePoint Services 3.0 Search
- Windows SharePoint Services 3.1
- Windows SharePoint Services 3.2

付録 C: 監視される Web サービス

この付録では、CA APM for Microsoft SharePoint が監視する Web サービスのリストを示します。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[SharePoint 2007 により監視される Web サービス \(P. 109\)](#)

[SharePoint 2010 により監視される Web サービス \(P. 110\)](#)

SharePoint 2007 により監視される Web サービス

Microsoft Office SharePoint 2007 では、以下の Web サービスが提供されています。拡張機能はこれらのサービスを監視します。

- Administration Web Service
- Alerts Web Service
- Area Web Service
- Authentication Web Service
- BDC Field Resolver Web Service
- BDC Web service
- CMS Content Area Toolbox Info Web Service
- Content Deployment Remote Import Web Service
- Copy Web Service
- Document Workspace Web Service
- Excel Services Web Service
- Forms Web Service
- Forms Services proxy Web Service
- Forms Services Web Service
- Imaging Web Service
- List Data Retrieval Web Service
- List Web Service

- Meeting Web Service
- Office File Web Service
- People Web Service
- Permissions Web Service
- Published Links Web Service
- Publishing Service Web Service
- Search Web Service
- Search Crawl Web Service
- SharePoint Directory Management Web Service
- Site Data Web Service
- Site Web Service
- Slide Library Web Service
- Users and Groups Web Service
- User Profile Change Web Service
- User Profile Web Service
- Versions Web Service
- Views Web Service
- Web Part Pages Web Service
- Webs Web Service
- Workflow Web Service

SharePoint 2010 により監視される Web サービス

Microsoft Office SharePoint 2010 では、以下の Web サービスが提供されています。拡張機能はこれらのサービスを監視します。

- Administration Web Service
- Alerts Web Service
- Authentication Web Service
- BDC Web service

- BiAuthoring Web Service
- BiRendering Web Service
- CMS Content Area Toolbox Info Web Service
- Content Deployment Remote Import Web Service
- Copy Web Service
- Diagnostics Web Service
- Document Workspace Web Service
- Excel Services Web Service
- Forms Web Service
- Forms Services proxy Web Service
- Forms Services Web Service
- Imaging Web Service
- List Data Retrieval Web Service
- List Web Service
- Meeting Web Service
- Office File Web Service
- People Web Service
- Permissions Web Service
- Profile Import Export Service
- Published Links Web Service
- Publishing Service Web Service
- Publish Web Service
- Search Web Service
- Search Crawl Web Service
- Shared Access Web Service
- SharePoint Directory Management Web Service

- Site Data Web Service
- Site Web Service
- Slide Library Web Service
- Social Data Web Service
- Taxonomy Client Web Service
- Users and Groups Web Service
- User Profile Change Web Service
- User Profile Web Service
- Versions Web Service
- Views Web Service
- Web Part Pages Web Service
- Webs Web Service
- Workflow Web Service

付録 D: FAQ

この付録では、CA APM for Microsoft SharePoint に関するよくある質問について説明します。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[\[SharePoint\] ダッシュボードで \[IIS パフォーマンス\] タブが機能しない \(P. 114\)](#)

[\[SharePoint\] ダッシュボードで \[データベース オペレーション\] タブが機能しない \(P. 114\)](#)

[\[SharePoint\] ダッシュボードで \[バックエンド\] タブが機能しない \(P. 115\)](#)
[サービスは動作しているが SharePoint サービスに関連付けられているアラートが赤色で表示される \(P. 115\)](#)

[データベース サーバがファーム サーバの一部として Investigator ツリーに表示されない \(P. 116\)](#)

[\[Stall Count\] メトリックが \[Pages\] または \[Web Parts\] の下にのみ表示される \(P. 116\)](#)

[サイト メトリックが表示されない \(P. 117\)](#)

[ページ メトリックが表示されない \(P. 117\)](#)

[ページおよび Web パーツのライフサイクル メソッドのパフォーマンス \(P. 117\)](#)

[ユーザ アクティビティが識別されない場合に間隔ごとの応答数が多く表示される \(P. 118\)](#)

[\[大文字と小文字を区別する\] オプションを使用したトランザクション追跡に何も表示されない \(P. 118\)](#)

[サイト コレクション、サイト、またはサブサイトのトランザクション追跡のページ識別 \(P. 119\)](#)

[すべての ASPX ページ メトリック レポートのグループ化 \(P. 119\)](#)

[すべてのフロントエンド ノードの URL メトリックのグループ化 \(P. 120\)](#)

[SharePoint]ダッシュボードで[IIS パフォーマンス]タブが機能しない

症状:

[SharePoint] ダッシュボードで [IIS パフォーマンス] タブが機能しないのはなぜですか。

解決方法:

1. WebServers 管理モジュールの拡張機能をインストールします。
このモジュールは、 [IIS パフォーマンス] タブに関連するダッシュボードを表示します。
2. PPWebServers_ManagementModule.jar ファイルが
<EM_Home>%config\modules ディレクトリで利用可能なことを確認します。

[SharePoint]ダッシュボードで[データベース オペレーション]タブが機能しない

症状:

[SharePoint] ダッシュボードで [データベース オペレーション] タブが機能しないのはなぜですか。

解決方法:

.NET エージェント管理モジュールがインストールされている場合のみ、 [データベース オペレーション] タブに関連付けられているダッシュボードが表示されます。 DotNETSampleManagementModule.jar ファイルが <EM_Home>%config\modules ディレクトリで利用可能なことを確認します。

[SharePoint]ダッシュボードで[バックエンド]タブが機能しない

症状:

[SharePoint] ダッシュボードで [バックエンド] タブが機能しないのはなぜですか。

解決方法:

[バックエンド] タブでは、Insight 管理モジュールがインストールされている場合のみ、関連付けられているダッシュボードが表示されます。PPDatabases_ManagementModuleMSSQL.jar ファイルが <EM_Home>\config\modules ディレクトリで利用可能なことを確認します。

サービスは動作しているが SharePoint サービスに関連付けられているアラートが赤色で表示される

症状:

サービスは正常に動作していますが、概要ダッシュボードの SharePoint サービスに関連するアラートが赤色で表示されるのはなぜですか。

解決方法:

ファーム内のすべての SharePoint サーバでサービスが開始されると、そのサービスのアラートが概要ダッシュボードに緑色で表示されます。ファーム内の SharePoint サーバでサービスが 1 つも開始されない場合、概要ダッシュボードのサービスのアラートは赤色で表示されます。この動作はサービスの使用、未使用を問いません。

例:

ファーム内に 4 つの SharePoint Server があり、2 つのサーバ上でのみ Excel サービスを開始します。Excel サービスに対するアラートが概要ダッシュボードに赤色で表示されます。4 つのサーバすべてで Excel サービスを開始した場合は、Excel サービスに対するアラートが概要ダッシュボードに緑色で表示されます。アラートが緑色の場合、ファーム内の 4 つの SharePoint サーバすべてのサービスが必ずしも使用されているわけではありません。

データベース サーバがファーム サーバの一部として Investigator ツリーに表示されない

症状:

データベース サーバが、Investigator ツリー、SPMonitor エージェント、ファーム サーバに表示されないのはなぜですか。

解決方法:

データベース サーバでイベントが発生しており、このイベントが SPMonitor エージェントによって監視されている場合に限り、データベース サーバが Investigator ツリーに表示されます。

[Stall Count] メトリックが [Pages] または [Web Parts] の下にのみ表示される

症状:

[Stall Count] メトリックが [Pages] または [Web Parts] の下にのみ表示されるのはなぜですか?

解決方法:

CA Introscope® はストールが発生するたびに Stall Count メトリックをレポートし、発生場所に応じて Investigator ツリーにそれをレポートします。したがって、ストールがページまたは Web パーツに対して発生する場合は常に、[Stall Count] ノードが動的に表示されます。

サイト メトリックが表示されない

症状:

サイト メトリックが表示されないのはなぜですか?

解決方法:

使用している PBD に応じて、sharepoint-typical.pbd または sharepoint-full.pbd の TurnOn: SiteARTTracing および TurnOn: SiteRPITracing トレーサのコメント化を解除して、トレーサを有効にし、サイトのメトリックを表示します。

ページ メトリックが表示されない

症状:

ページメトリックが表示されないのはなぜですか?

解決方法:

sharepoint.pbl 内の sharepoint-full.pbd のコメント化を解除して、ページメトリックを表示します。

ページおよび Web パーツのライフサイクル メソッドのパフォーマンス

症状:

ページおよび Web パーツ のライフサイクル メソッドのパフォーマンスはどこで確認できますか。

解決方法:

CA APM for Microsoft SharePoint では、ページおよび Web パーツのライフサイクルメソッドを監視しますが、それらはトランザクション追跡でのみレポートされます。

ユーザ アクティビティが識別されない場合に間隔ごとの応答数が多く表示される

症状:

実際のユーザ アクティビティが識別されない場合に、定期的または頻繁に、間隔ごとの応答数をエージェントが多くレポートするのはなぜですか。

解決方法:

これらの応答数は SharePoint ファームのクローラ サービスに起因します。このサービスは、内部的に SharePoint API を使用して、ページをクロールします。CA APM for Microsoft SharePoint ではクロール数がレポートされません。

[大文字と小文字を区別する]オプションを使用したトランザクション追跡に何も表示されない

症状:

以下のフィルタを使用して、[大文字と小文字を区別する] オプションを使用したときに、トランザクション追跡に何も表示されません。

- サイト コレクション名
- サイト名
- ページ名

解決方法:

CA APM for Microsoft SharePoint では、常にサイト コレクション名、サイト名、ページ名が小文字に変換されます。大文字と小文字を組み合わせた名前は、トランザクション追跡に表示されない場合があります。[大文字と小文字を区別する] オプションは Web パーツおよびリストに役立ちます。

サイト コレクション、サイト、またはサブサイトのトランザクション追跡のページ識別

症状:

トランザクション追跡で識別されたページがサイト コレクション、サイト、またはサブサイトの一部であることは、どうしたら正確にわかりますか。

解決方法:

トランザクション追跡が識別するすべての **SharePoint** コンポーネントには以下の詳細が含まれます。

- サイト コレクション
- サイト名
- ページ名
- リスト名
- Web パーツ名
- Web パーツ クラス名
- ライフサイクルメソッド

これらの詳細は、トランザクション追跡の [追跡ビュー] および [ツリービュー] の [プロパティ] セクションに表示されます。

すべての ASPX ページ メトリック レポートのグループ化

症状:

すべての ASPX ページ メトリック レポートをグループ化するにはどうすればよいですか。

解決方法:

dotnet.pbd の以下の行を、

```
TraceOneMethodWithParametersIfFlagged: ASPNETTracing  
ProcessRequest;[mscorlib]System.Void([System.Web]System.Web.HttpContext)  
BlamePointTracerDifferentInstances "ASP.NET|{classname}"
```

以下の行で置き換えます。

```
TraceOneMethodWithParametersIfFlagged: ASPNETTracing  
ProcessRequest;[mscorlib]System.Void([System.Web]System.Web.HttpContext)  
BlamePointTracerDifferentInstances "ASP.NET"
```

すべてのフロントエンド ノードの URL メトリックのグループ化

症状:

すべてのフロントエンド ノードの URL メトリックをグループ化するにはどうすればよいですか。

解決方法:

以下の設定が IntroscopeAgent.profile の URL Grouping Configuration セクションで有効にされていることを確認します。

デフォルトでは、これらの設定は .NET エージェントで有効にされます。

```
introscope.agent.urlgroup.keys=default  
introscope.agent.urlgroup.group.default.pathprefix=*  
introscope.agent.urlgroup.group.default.format=Default
```